著作権についてのご注意

警告

あなたがレコードやCD、録音物などから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断では使用できません。

（社）私的録音保証金管理協会
TEL.（03）3261−3444

音楽の作詞、作曲などは一般に著作権法によって保護されていますが、放送やレコード、録音物（CD、ミュージックテープなど）の作品も同じように著作権法により保護されています。従って、音楽そのものやレコード、録音物あるいはそれから録音したCDなどの使用には一定の制限があります。
たとえば、

- 放送やレコード、CD、録音物から録音したCDを売ったり配ったりすること、あるいは、貸し借りしたり、譲ったり、交換したりすること。
- レコードやCD、録音物またはそれから録音したCDや放送から録音したCDを営利（店のBGMなど）のために使用すること。

これらの場合には、著作権法上の権利者の許諾を必要とします。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会（JASRAC）もしくは最寄りの支部におたずねください。

録音可能なCDについて

録音可能なディスクは音楽用「DIGITAL AUDIO」表示のあるCD-R／CD-RWです。

◯ 使用いただけるディスク

✕ 使用できないディスク

- CD-Rはライトワンス（録音後の消去ができない）CDです。ファイナライズ（完成）を行なわない限り、曲を追加して録音することはできますが、消去はできません。
- CD-RWはリライタブル（消去することで、また録音ができるようになる）CDです。最後に録音した1曲のみの消去または、ディスク内のデータをすべて消去ができます。

保　証　書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品 名	アンティーク調CDコピーマルチプレーヤー	
お客様	お名前	ご住所 電話番号　　（　　　）
お買上げ日 年　　月　　日	取扱販売店名・住所・電話番号 輸入販売元　〒340−0802 埼玉県八潮市鶴ケ曽根1442−1 株式会社とうしょう　カスタマサポート　TEL：048−997−2244	
保証期間 （お買上げ日より）　本体1年 （但し消耗品は除く）		

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。なお、出張修理はおこなっておりません。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障及び損傷。
④異常電圧、電気の供給トラブル等に起因する故障及び損傷。
⑤用途以外で使用した場合の故障及び損傷。
⑥本書のご提示がない場合。
⑦本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

TS-113

アンティーク調 CDコピーマルチプレーヤー

取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。　ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後はいつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」をごらんください。

輸入販売元　株式会社とうしょう　カスタマサポート　TEL：048−997−2244
〒340−0802 埼玉県八潮市鶴ケ曽根1442−1

目　次

仕　様

●アンプ
消費電力：38W
出力：2W+2W
周波数特性：60Hz～16KHz

●CDプレーヤー（1）再生専用
周波数特性：60Hz～16KHz(±3dB)
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW／MP3
●CDプレーヤー（2）再生／録音
周波数特性：60Hz～16KHz(±3dB)
CD方式：Audio CD／CD-R／CD-RW

●レコードプレーヤー
モーター：DC方式
駆動方式：ベルトドライブ
回転数：33⅓／45／78rpm
信号雑音率：32dB
針：サファイア

●ラジオ
FM：76.0MHz～106MHz
AM：540kHz～1,600kHz
周波数特性：100Hz～4kHz

●カセットプレーヤー
再生／早送り専用
ステレオヘッド

●出力端子：イヤホン　ステレオ3.5mm
LINE OUT（L/R）
入力端子：AUX IN（L/R）
LINE IN　ステレオ3.5mm

●スピーカー
個数：2個
サイズ：100mm／27mm
インピーダンス：4Ω

こんなときは／故障かな?と思ったら

●故障かなと思ったら、まず以下の項目をご確認ください。

症　状		ここをお確かめください
スピーカー	音が出ない 音が途切れる	●音量は十分ですか? ●ヘッドホンをジャックに差したままになっていませんか?
リモコン	リモコンが使えない	●本体の電源はONになっていますか? ●リモコンと本体の間に障害物はありませんか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎていませんか?(約2m以内) ●リモコンから出ている透明シールを抜き取ってありますか? ●リモコンの電池が消耗していませんか?
CDレコーダー	再生できない 音が出ない	●機能選択ボタンを押して選択しましたか? ●CDのオモテ側を上向きに、正しく挿入されていますか? ●CDの再生面が汚れていませんか?やわらかい布などでふいてください。 ●ファイラナイズ(完成処理)しましたか?していないと他のCDプレーヤーで再生できません。
	録音できない	●音楽用のCD-RまたはCD-RW使用していますか? ●録音されてない空のCDディスクですか?
レコードプレーヤー	ターンテーブルが回らない 音が出ない	●能選択ボタンを押してPHONOを選択しましたか? ●針の保護カバーカバー(白色ポリカバー)をはずしましたか?確認してください。 ●トーンアームのヘット部分を一度外側(右側)に動かすとターンテーブルが回ります。また、再生が終ると自動で止まりますが、途中で止めるときは、トーンアームのヘット部分をターンテーブルの中心あたりまで動かすと停止します。
カセットテープ	テープが入らない 回らない	●テープは正しく録音されたものですか? ●能選択ボタンを押してPHONOを選択しましたか? ●テープを挿入するとき、上下、左右、正しい向きになっていますか？
ラジオ	音が出ない	●能選択ボタンを押してラジオを選択しましたか? ●ラジオ選局ツマミでお聴きになりたい番組に周波数を正確に合わせましたか?
	雑音が入る	●受信しやすい方向にアンテナを動かして、調整してください。(FM受信時) ●本機の設置場所、設置方向を変えてください。(AM受信時)

日常のお手入れ

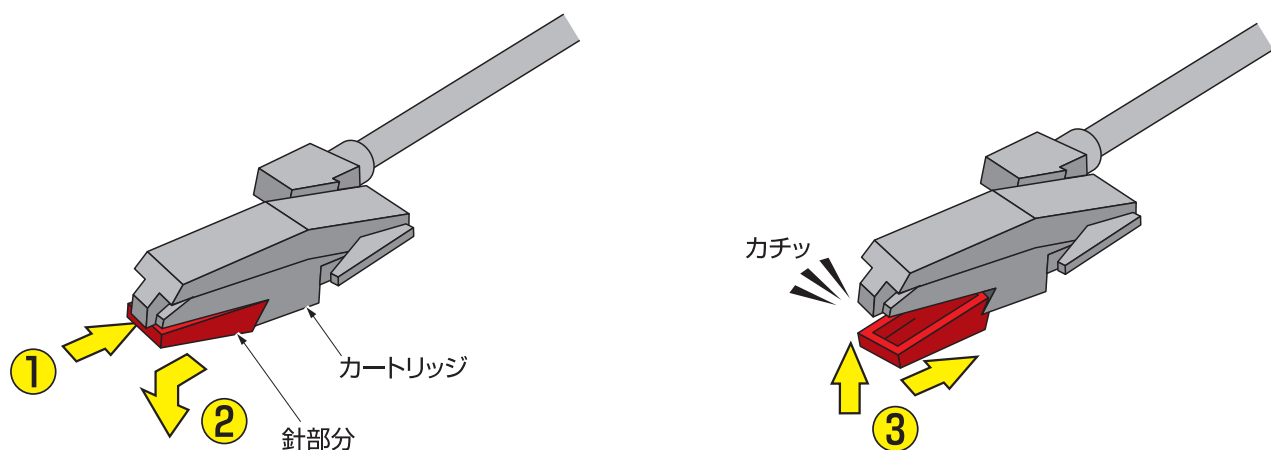
⚠ 注意

高温多湿の場所に設置しないでください

正常な機能を維持し、末永くお使いいただくために、お風呂場の近くやストーブ、直射日光の当たる場所など、高温や多湿の場所ではお使いにならないでください。変形したり、故障の原因となることがあります。

汚れを取るときは

汚れをとる場合は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に浸した布を固く絞ってから拭き取ってください。このとき、必ず電源プラグを抜いてから行なってください。
研磨剤や強力な洗剤は、本体の仕上げを傷つけることがありますので、絶対に使用しないでください。また、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。変質したり、曇ったりすることがあります。

レコード針の交換（別売品）

①カートリッチと針の部分(赤い部分)の上の境目に指の「ツメ」を引っかけ下に下します
②左右前後に軽く指で動かします針部分が外れます

③交換用の針部の後ろの突起をカートリッチに差込み軽く上に引き上げます「カチッ」と音がすればセット完了です

注 意

●レコード針は、精密に作られていますので、取り扱いは十分に注意してください。
●レコード針の交換目安は、約100時間／LP盤100枚です。それ以上使い続けると大切なレコード盤を傷つける恐れがありますので、ご注意ください。

安全上のご注意

絵表示について　この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（注意･警告･危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災･感電の原因となります。

●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災･感電の原因となります。
電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災･感電の原因となります。

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災･感電の原因となります。

●本器の側面、裏側カバーをはずしたり、本器を改造したりしないでください。
また、本器の内部には触れないでください。火災･感電の原因となります。内部の点検･調整･修理は販売店にご依頼ください。 分解禁止

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災･感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。
（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

⚠ 注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災･感電の原因となることがあります。

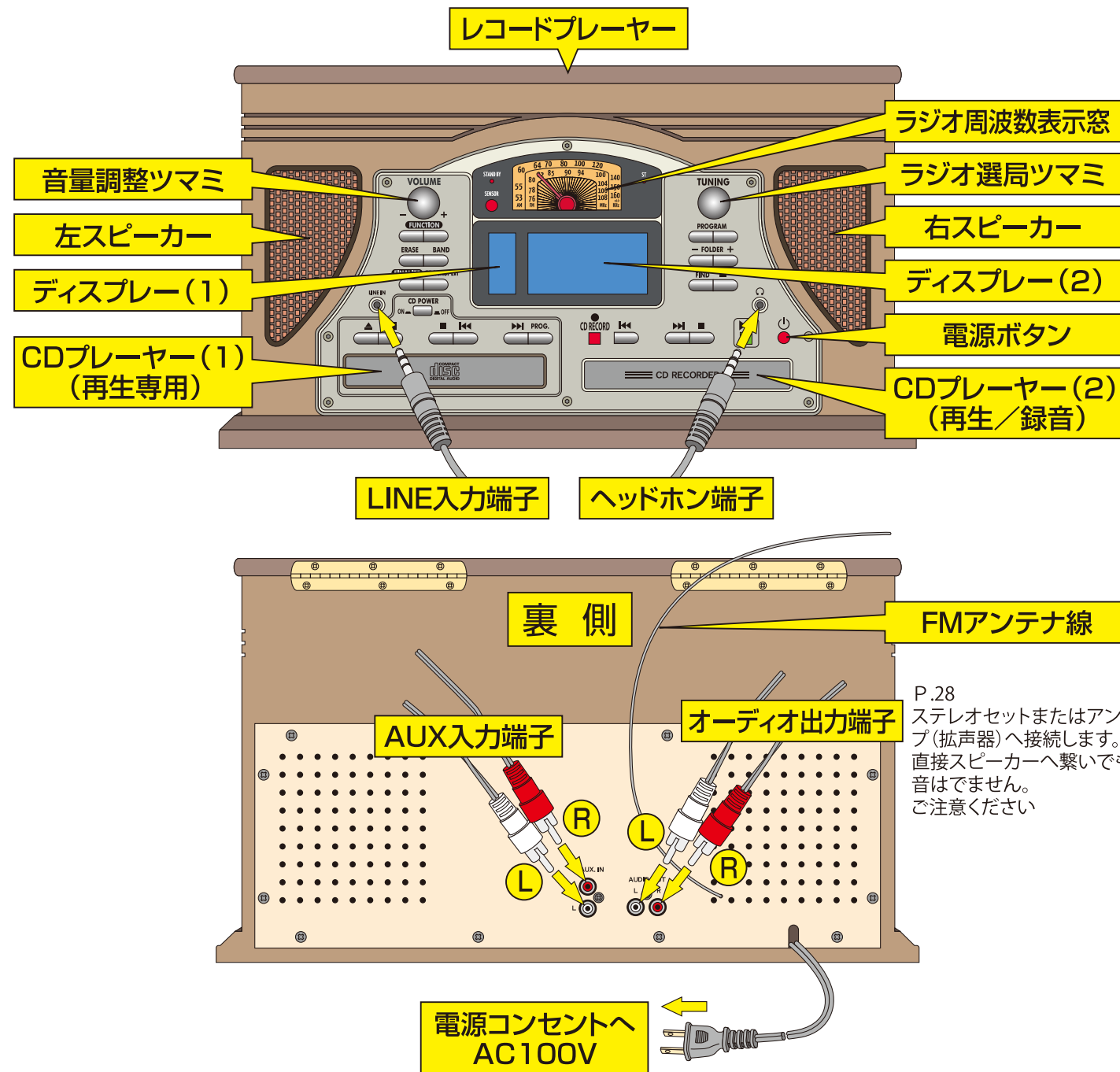
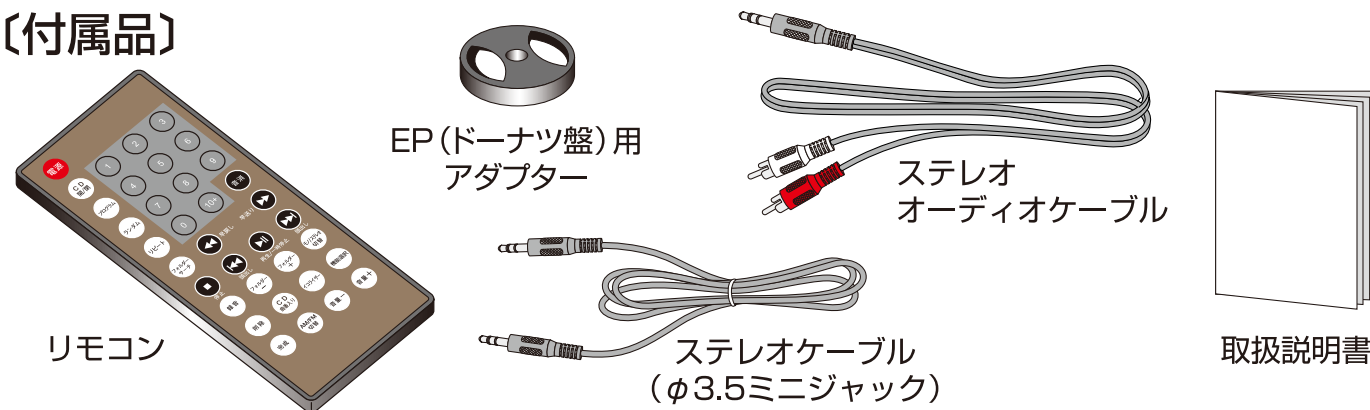
●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

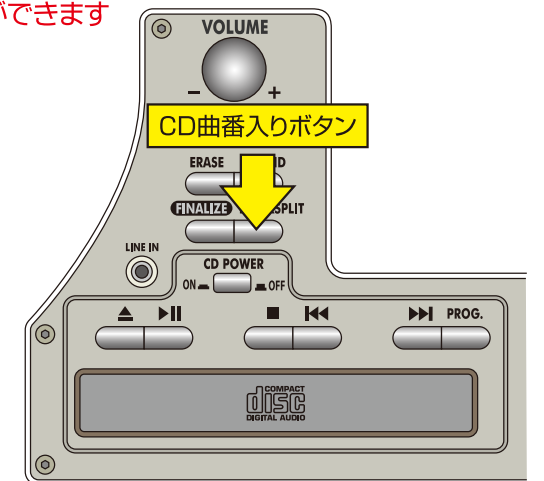
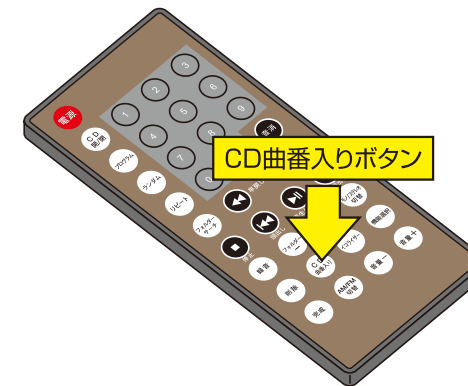
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災･感電の原因となることがあります。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。

各部の機能と接続方法

P.28
ステレオセットまたはアンプ（拡声器）へ接続します。
直接スピーカーへ繋いでも音はでません。
ご注意ください

〔付属品〕

局番入りボタンの使用方法

※録音中に曲番入りボタン(TRACKSPLIT)を押すことにより曲間ができます
押さない場合は１曲の中に全ての曲が録音されます。

- ●CD録音中に「曲番入りボタン」を押すと曲と曲の間に空きができます。CDを再生するときに曲を特定して聴いたり、プログラム再生、リピート再生、ランダム再生に便利な機能です。
- ●曲と曲の間が少ないと次の曲の頭が切れることがありますので、押すタイミングにご注意ください。
- ●ラジオの録音、テープの録音など、他の録音時にも機能します。

数字ボタンについて

「数字ボタン」はCDを再生するときダイレクトに曲順の所を再生します。10番より大きい数字のときは、「10+」を押した後に1桁数字を押します。

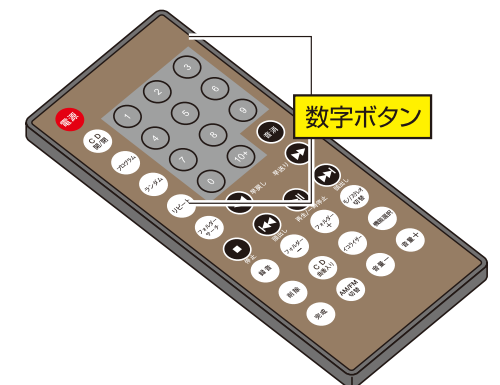
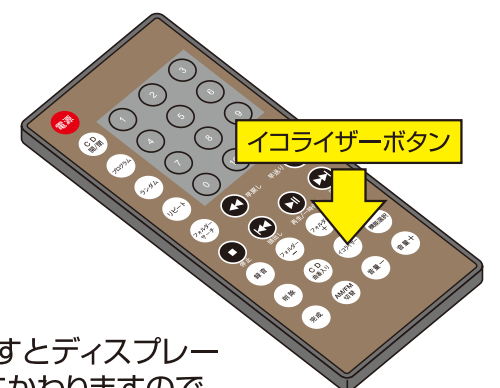
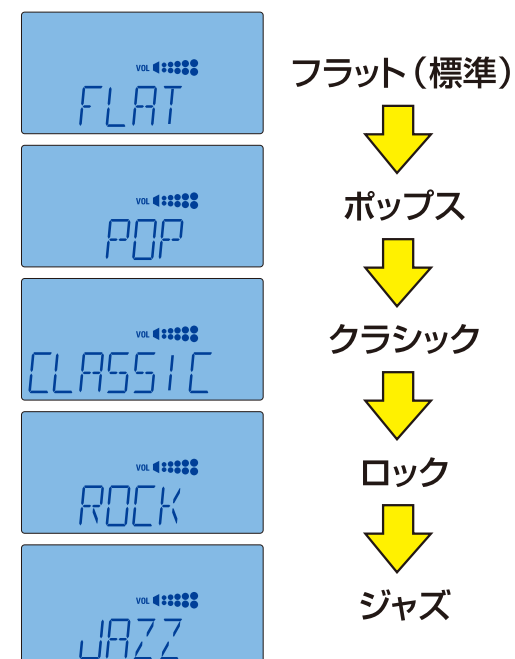
イコライザー機能

フラット（標準）

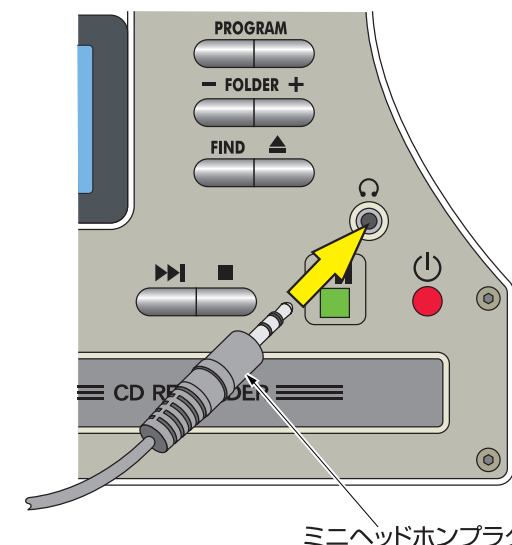
ポップス

クラシック

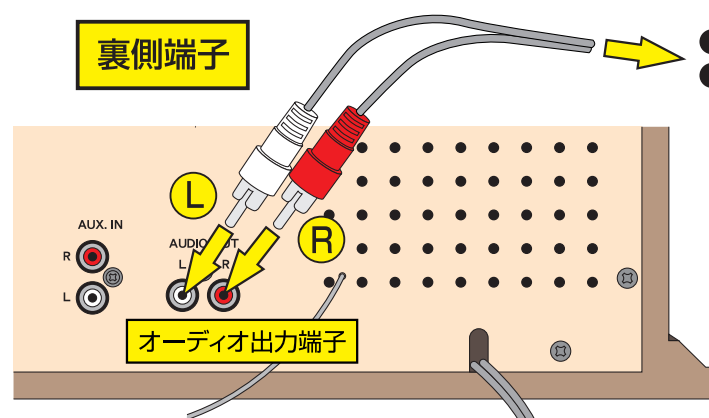
ロック

ジャズ

「イコライザーボタン」を押すとディスプレーに左画面の順番で押すたびにかわりますので、お好きな音質を選択してでお聴きください。

その他の便利な機能

ヘッドホンの使用方法

●本機で使用できるヘッドホンの仕様は、プラグがミニタイプ（φ3.5mm）でインピーダンス8〜32Ωです。ご利用前に確認してください。

●ヘッドホンのプラグを本機前面の「ヘッドホン端子」に差し込みます。ヘッドホンを使用の時は、左右のスピーカーは自動的に聞こえない状態になります。ヘッドホンの音量はボリュームツマミで適切な大きさに調整して聞いてください。

オーディオ出力端子について

オーディオ出力端子に外部の機器（ステレオ装置など）に接続すると、本機再生した音を外部の機器を通して聞くことができます。

音消ボタンについて

CD･レコードの再生、ラジオ･カセットテープを聴いているとき「音消ボタン」を押すと音が聞こえなくなります。もう一度「音消ボタン」を押すと再度音が出るようになります。

リモコンの電池セット

●電池のセット方法

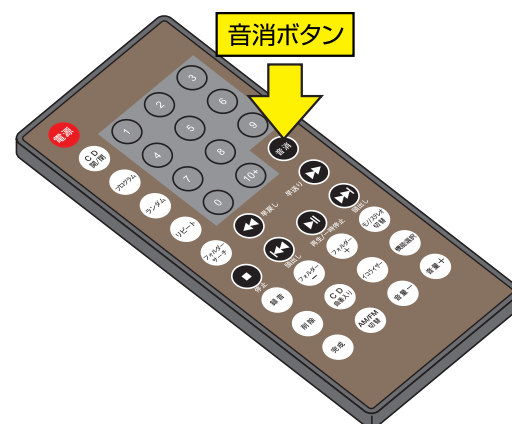
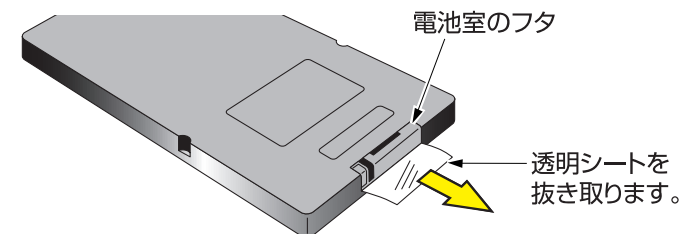
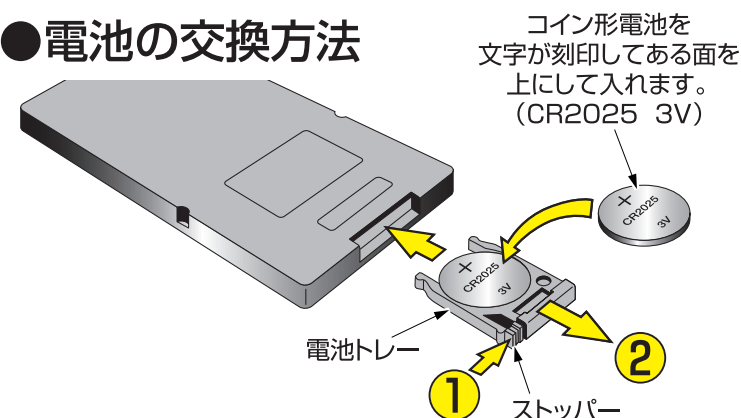
電池室のフタ

透明シートを抜き取ります。

●電池の交換方法

コイン形電池を文字が刻印してある面を上にして入れます。（CR2025 3V）

電池トレー

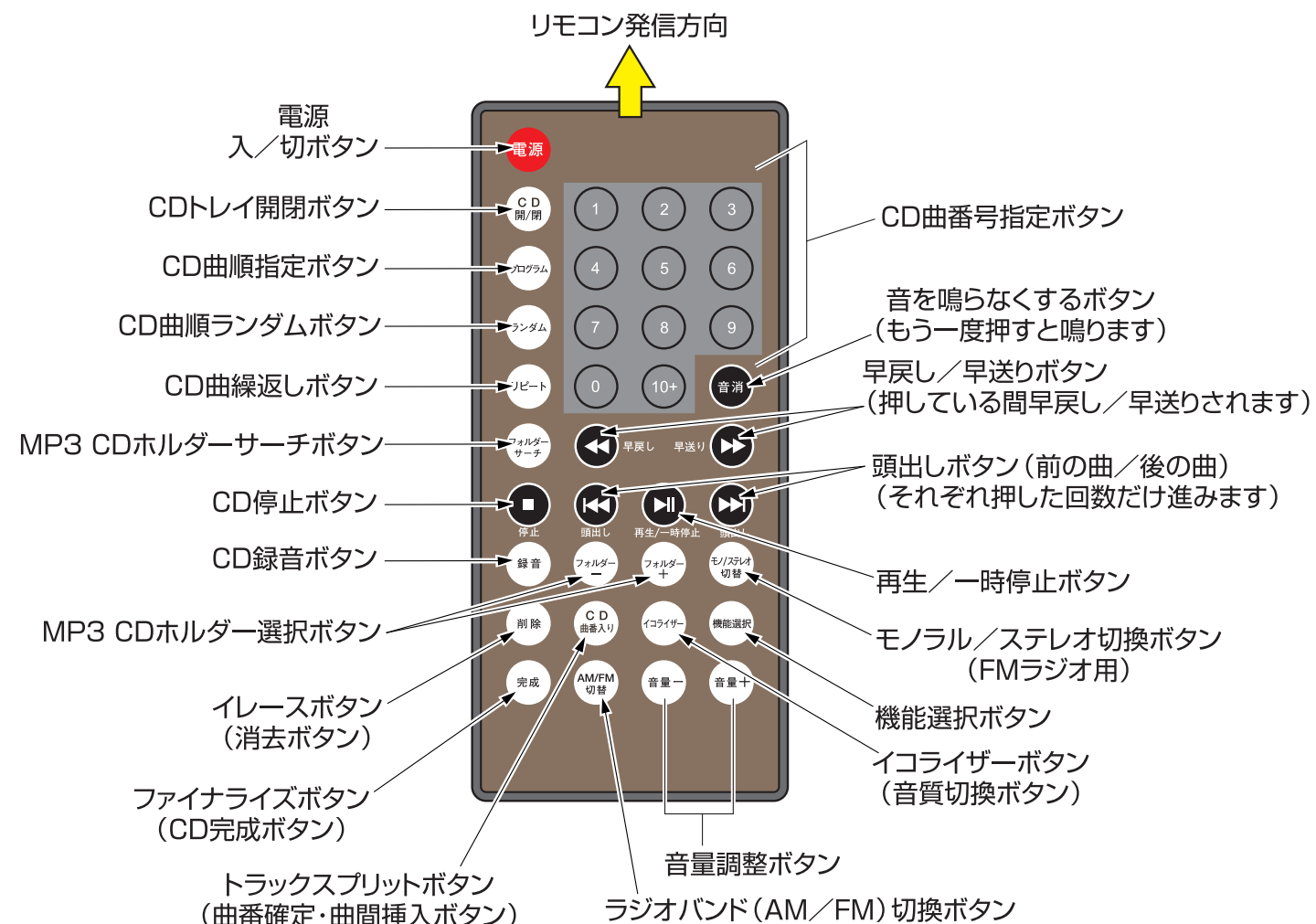
① ストッパー ②

リモコンから出ている透明シールをゆっくりと引き抜いてください。
途中で切れてしまったときは、下記の電池の交換を参照に正しく入れてください。

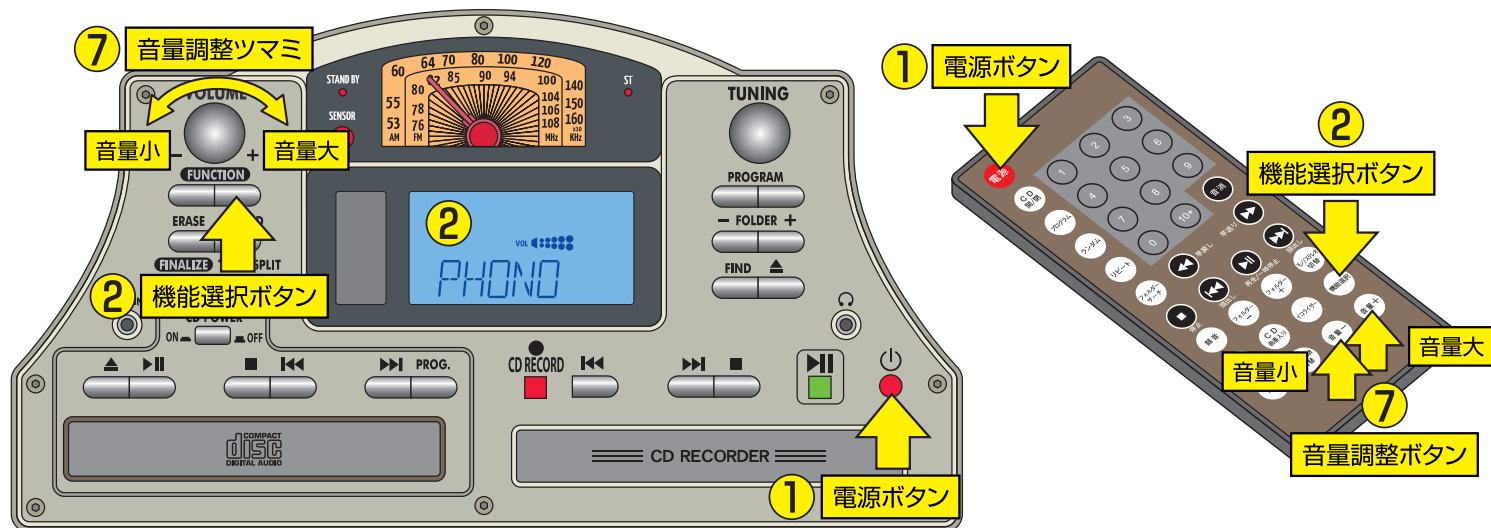
●ストッパーを押しながら電池トレーを引き出し、電池の裏表を注意して交換してください。

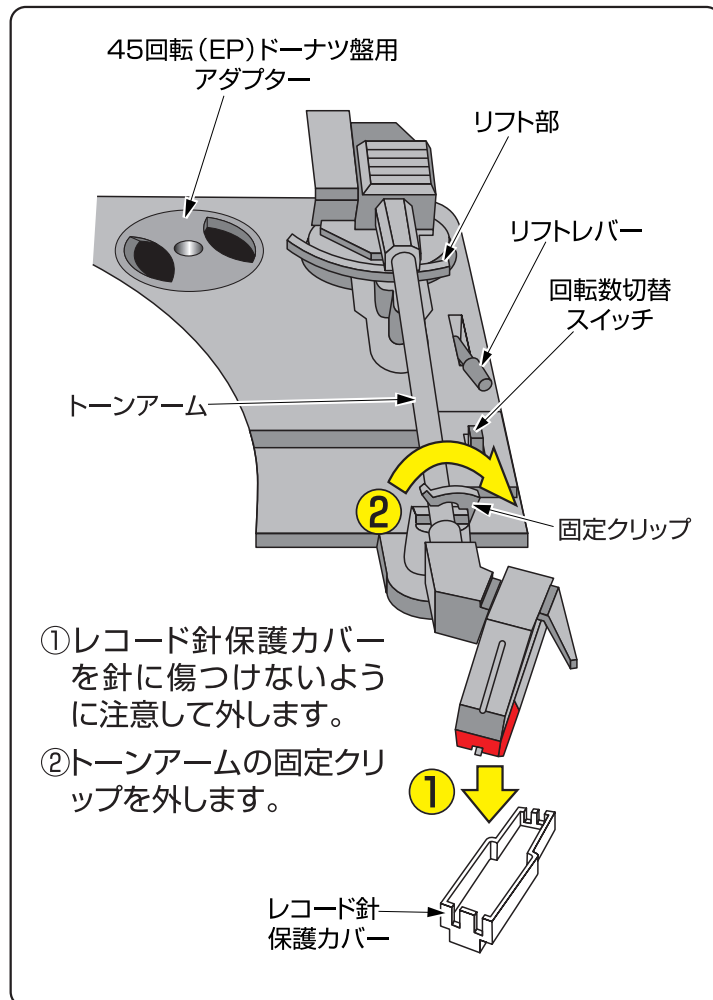
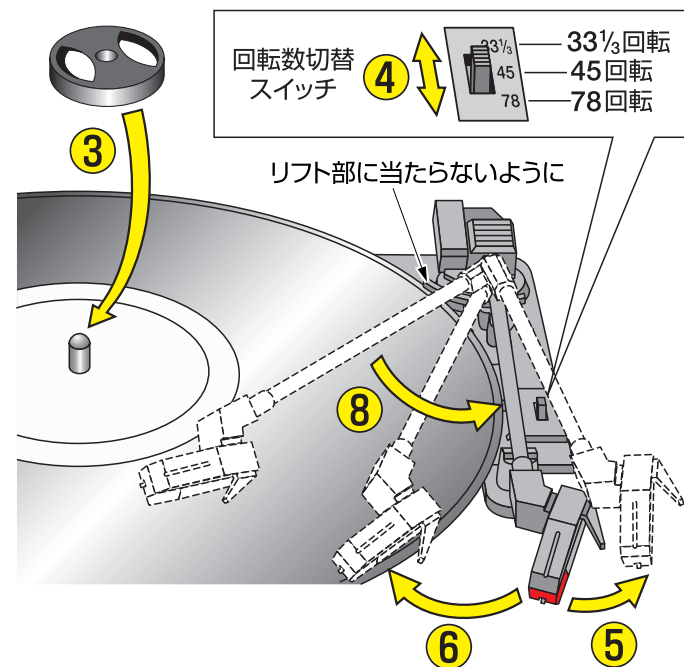
●始めから入っている電池は動作確認用ですので、新品の電池よりも寿命が短いことがあります。リモコン操作の距離が短くなったときは、新品の電池と交換してください。
使用電池は、コイン形二酸化マンガンリチウム電池（CR2025 3V）です。

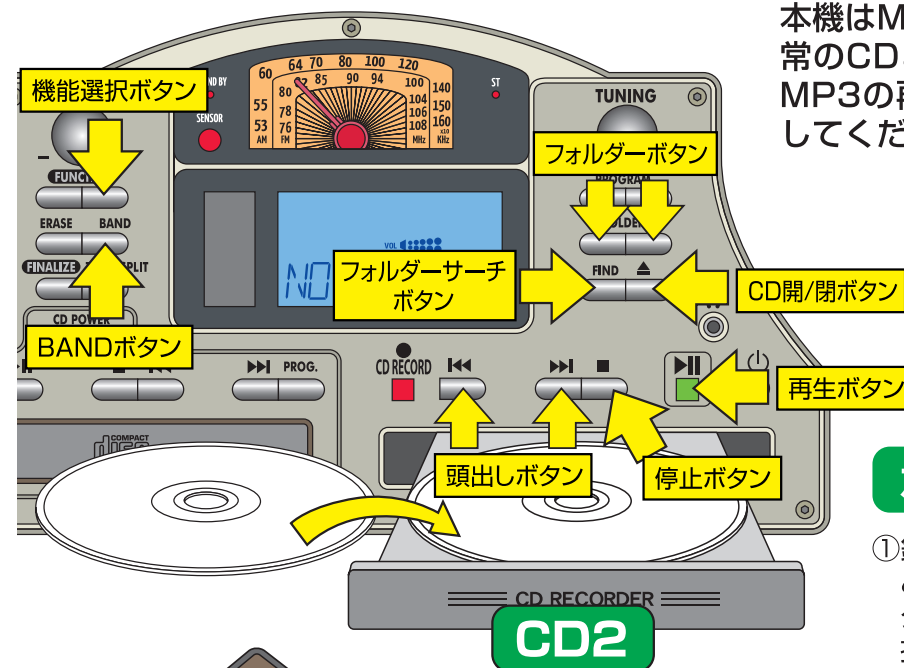
●使用済みの電池は、お近くの家電ショップ、カメラ店などにお持ちになり、回収を依頼してください。決して火の中に入れないでください。破裂や液漏れをおこし危険です。

●長い間ご使用にならないときは、電池をリモコンから出して保管してください。

リモコンの各部名称と機能

レコードプレーヤーの使い方

⚠ **注意** トーンアームの先端の針の部分には絶対に触れないでください。
針先が曲がったりして、正常な音質で演奏できなくなります。

①前面パネル（リモコン）の「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。ディスプレーが点灯します。
②「機能選択（FANCTION）」ボタンを押しディスプレーに「PHONO」表示にします。
③レコードをターンテーブルにのせます。EPレコード（ドーナツ盤）は、センター軸にアダプターをのせてレコードをセットしてください。LPレコードをセットするとき、リフト部に注意して、リフトの下側にセットしてください。
④レコードの種類に応じて、回転数切替スイッチをスライドさせ、スピードを合わせます。

①レコード針保護カバーを針に傷つけないように注意して外します。
②トーンアームの固定クリップを外します。

⑤針のついたヘッドを一度外側（右側）に動かすとターンテーブルが自動に回転します。
⑥レコードに静かに針をのせてください。演奏が開始されます。
⑦ボリュームツマミ（音量ボタン）でお好みの音量に調整してください。
⑧演奏が終ると自動でターンテーブルが停止します。レコード盤を傷つけないように静かに針を持ち上げ、トーンアームホルダーに戻します。

MP3 CDの再生方法

本機はMP3で録音されたCDを再生できます。通常のCDと同じように操作、再生できますので、MP3の再生については下記の項目を参考に操作してください。

①電源スイッチボタンを押し、電源を入れます。
③「CD開／閉ボタン」を押し、CDの印刷面を上にしてCDをセットします。
④「CD開／閉ボタン」を押してトレイを閉めます。手でかるく押しても閉まります。

ホルダーアルバムの再生

①録音内容がいくつかのホルダーに分かれているときは、停止状態でホルダー［+］（進む）、ホルダー［–］（戻る）のボタンでCD内のホルダーを探してください。
②ホルダーの中は「頭出し ⏮／⏭」ボタンを押して曲を選んでください。
③「再生ボタン」を押して曲を聞いてください。

MP3 CD内の情報について

①CD内に曲名が記録されている場合は、曲の再生中にパネル画面に表示することができます。
②CD再生中にBAND（AM/FM）ボタンを押すとパネル画面に曲名が表示されます。
③もう一度BAND（AM/FM）ボタンを押すと表示が消えます。
注：CD内に曲情報が何も記録されていない場合は、ボタンを押しても何も表示されません。

いろいろな再生方法

MP3 CDには通常たくさんのファイルが保存されています。早く簡単にアルバムや曲を探すことができますので、下記の手順を参考に再生方法を選んでください。

ファイル名から探す

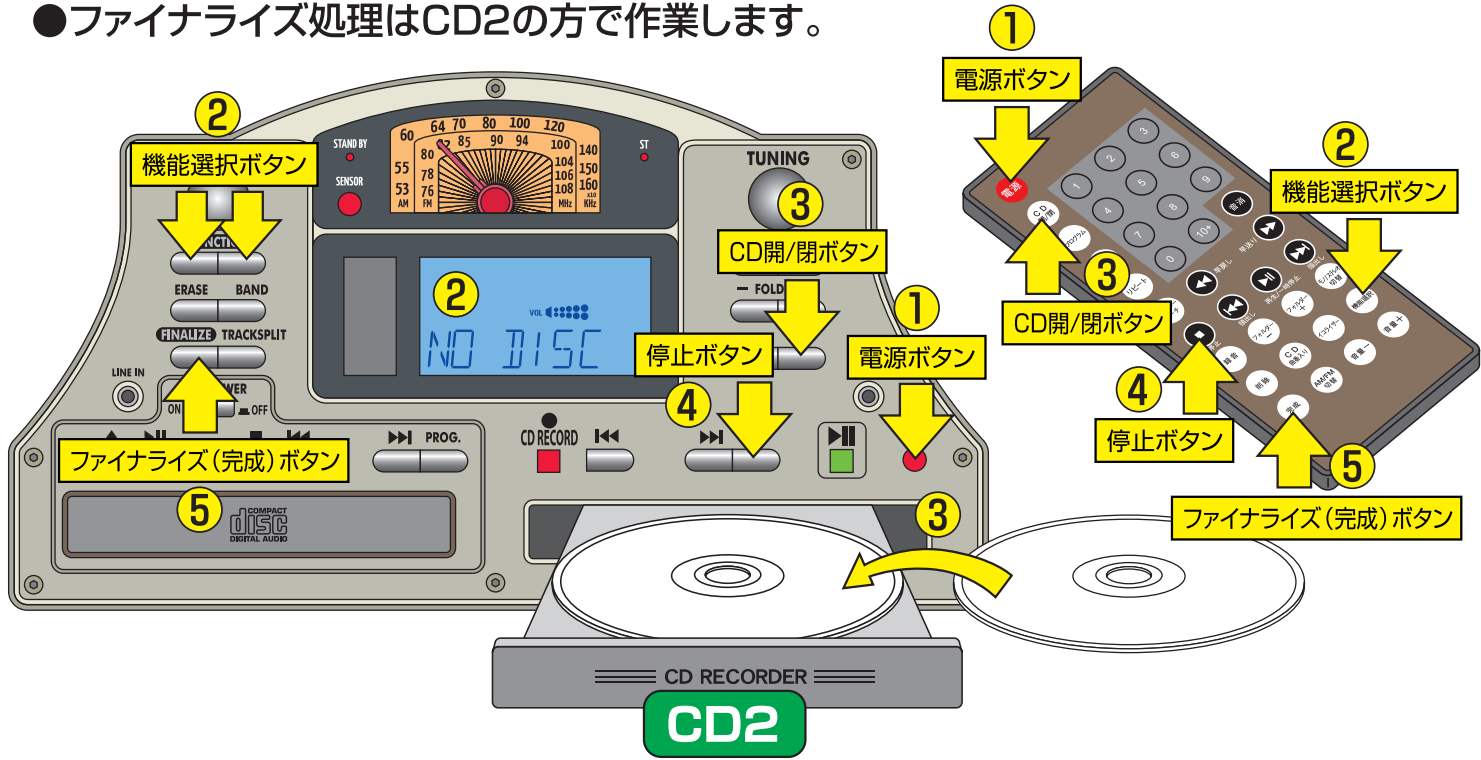
①停止状態または再生モード中にFINDボタン（フォルダーサーチボタン）押して、英文字または数字から探し始めてください。
②ホルダー［+］（進む）、ホルダー［–］（戻る）のボタンを押して曲を選び、再生ボタンを押して曲を聞いてください。
③検索モードにするには、パネル画面から「 」表示が消えるまでFINDボタン（フォルダーサーチボタン）押します。

フォルダーアルバムタイトル名から探す

①停止状態でFINDボタン（フォルダーサーチボタン）を2回押して検索します。「アルバム 001」が表示されます。
②ホルダー［+］（進む）、ホルダー［–］（戻る）のボタンを押してアルバムを選択します。
③「頭出し ⏮／⏭」ボタンを押してフォルダーアルバムを選択してください。

注：アーティスト名や曲名、フォルダー名がMP3 CDに記録されている場合にだけ検索できます。この記録はCDを製作するときに記録しますので、後で記録することはできません。
本機ではMP3 CDに記録することはできません。パソコンまたは他の機器で記録してください。

CDのファイナライズ（完成）処理

●ファイナライズ処理はCD2の方で作業します。

●ファイナライズすると他メーカーのCDプレーヤーで再生可能となります。ファイナライズしなくても本機では再生できます。

●CD2のCDでファイナライズ（完成）処理をおこないます。、トレイに仮録音されたCD-RまたはCD-RWが入った状態でファイナライス（完成）処理をおこないます。

●CD-Rディスクはファイナライズすると、追加録音、音楽データの消去ができなくなりますので、ご注意ください。

●CD-RWのディスクはファイナライズしてもデーター消去をすると、もう一度録音可能になります。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
②	機能選択ボタンを押し ディスプレーを確認して「NO DISC」を選択します	NO DISC	機能選択ボタンを押し ディスプレーに「NO DISC」が出るまで何回か押します
③	CD2のCD開／閉ボタンを押し ファイナライズ（完成）したいCDをセットします	OPEN	ディスプレーに「OPEN」が出ます CDをセットしてください
④	自動で音楽が再生されますので停止ボタンを押します	07 28:23	CDを停止ボタンを押し停止させます ディスプレーにCDの内容が表示されます
⑤	ファイナライズボタンを押します ファイナライズ（完成）処理が開始します	FINALIZE	ファイナライズ（完成）処理は約2〜3分ほどかかります（処理時間は内容によって変わります）

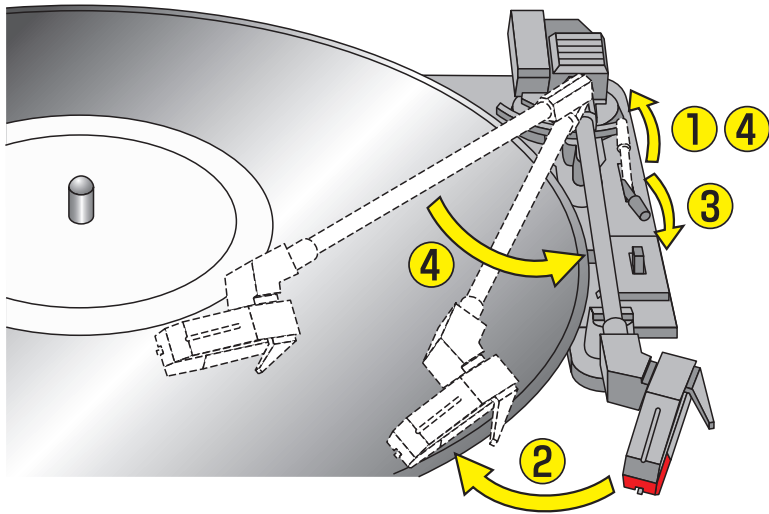
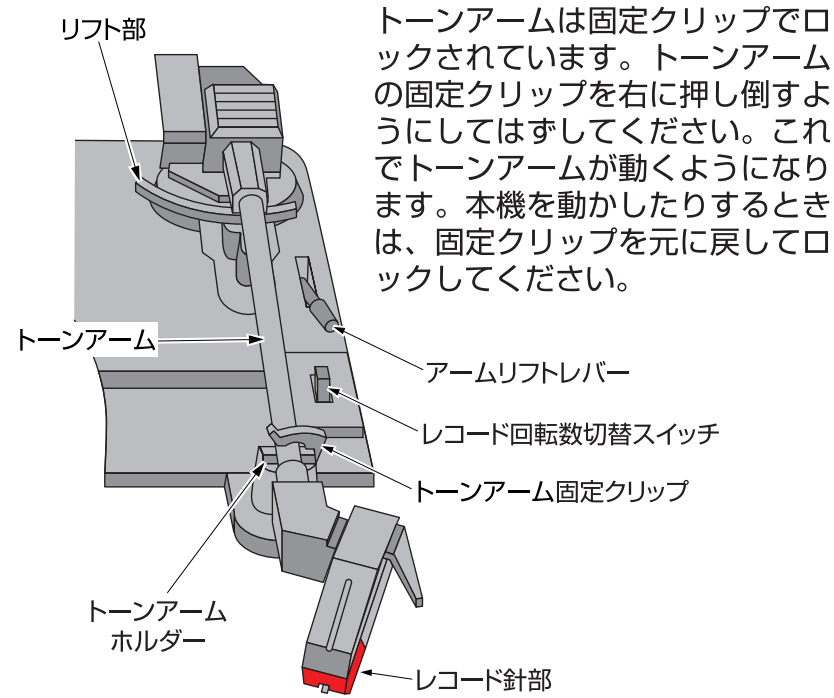
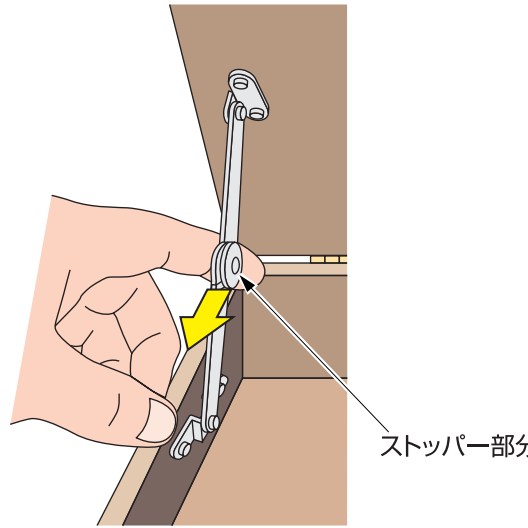
●リフトレバーの使い方

トーンアームは固定クリップでロックされています。トーンアームの固定クリップを右に押し倒すようにしてはずしてください。これでトーンアームが動くようになります。本機を動かしたりするときは、固定クリップを元に戻してロックしてください。

①リフトレバーをうしろ方向に起こすとリフトが上昇し、トーンアームが持ち上がります。

②針をレコードの始まる位置に置きます。このときはまだレコードには接触していません。

③リフトレバーをもとの位置に戻すと針が下りてきて演奏が始まります。

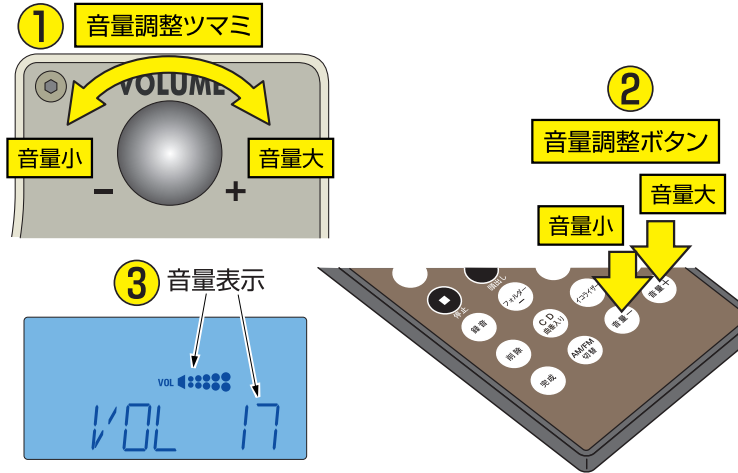
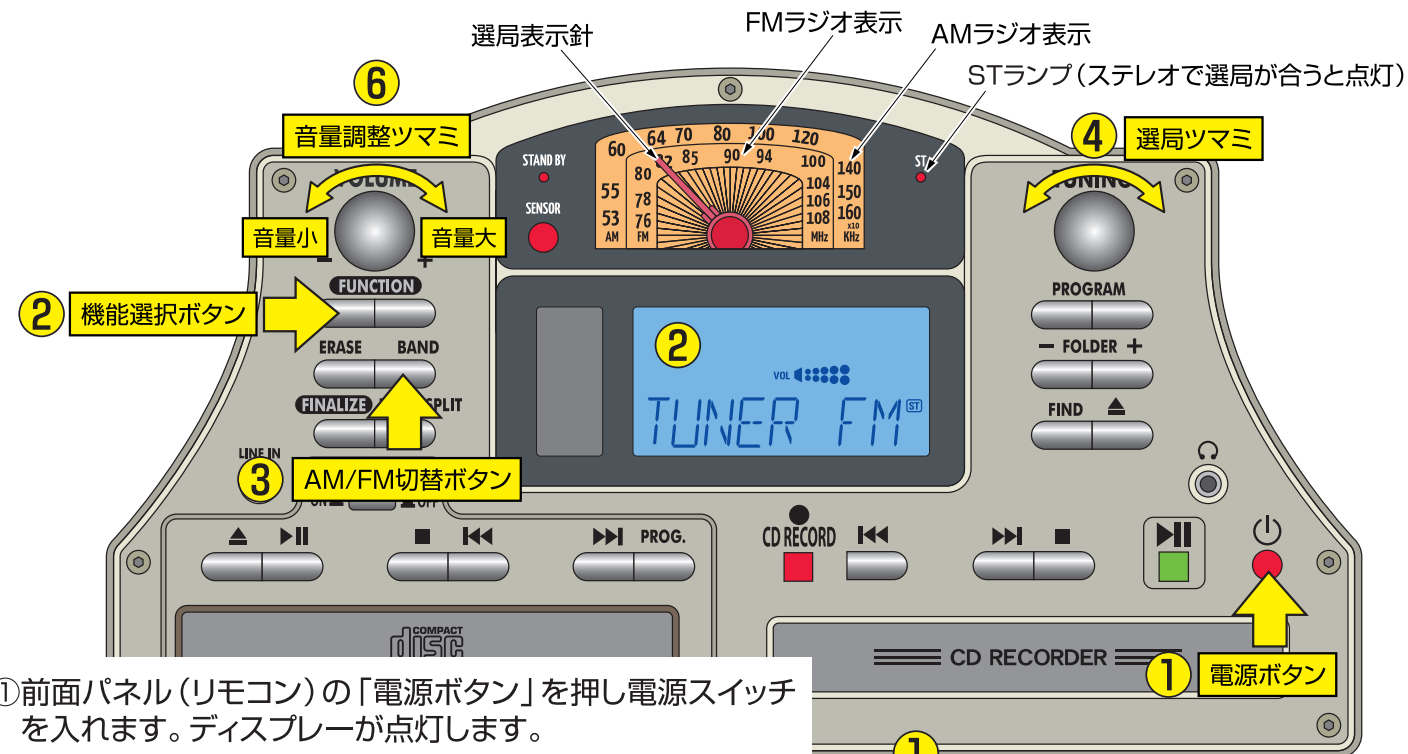
④演奏がすべて終ると自動で停止します。リフトレバーを起こすと針が上がりますので、手でトーンアームホルダーに戻してください。

●フタを閉めるときの注意

蓋を閉める時は、ストッパー部分に後側から指を添えるように少し折曲げてから閉めてください。

注意 トーンアームのヘッド部分を一度外側（右側）に動かすとターンテーブルが回ります。また、再生が終ると自動で止まりますが、途中で止めるときは、トーンアームのヘッド部分をターンテーブルの中心あたりまで動かすと停止します。

音量調整について

①音量は「音量調整ツマミ」左右に回して調整します。右に回した状態でだんだん大きくなり、左に回した状態でだんだん小さくなります。

②リモコンでは「+」側を押すと大きくなり、「−」側を押すとと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。

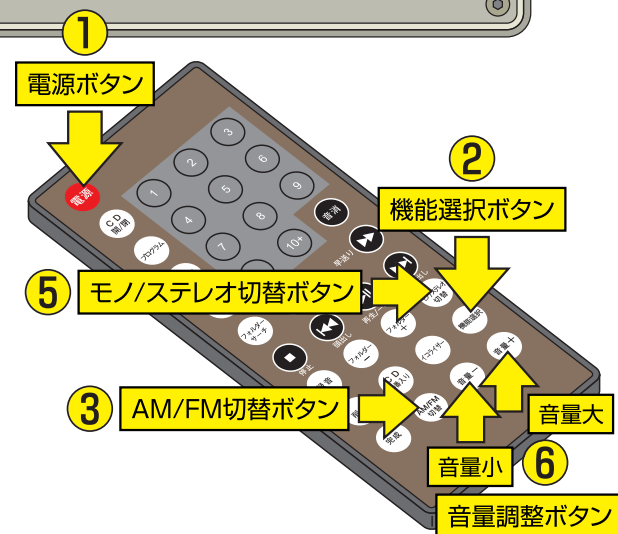
③ディスプレーに音の大きさが表示されますので、音量をご確認ください。

ラジオの使い方

①前面パネル（リモコン）の「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。ディスプレーが点灯します。

②「機能選択（FANCTION）」ボタンを押しディスプレーに「TUNER　FM」表示にします。（電源を入れるとこの表示になります）

③「機能選択ボタン」で、お聴きになりたいAM放送「TUNER AM」かFM放送「TUNER FM」を選択します。

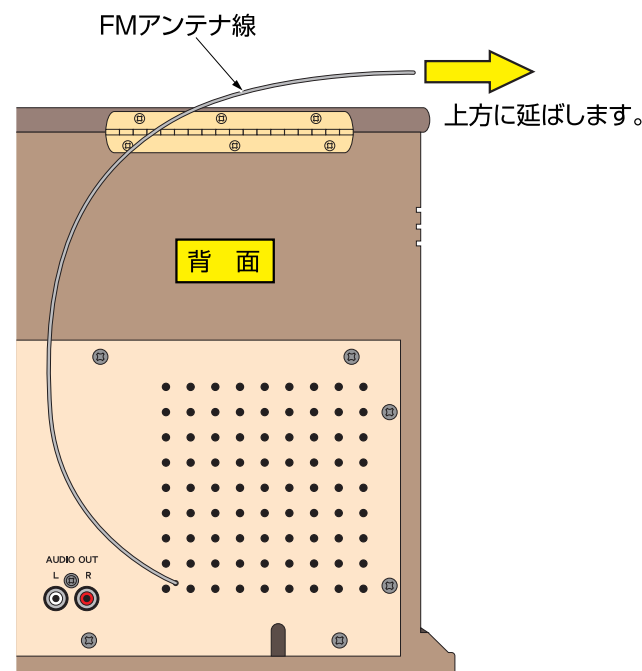
④「選局ツマミ（TUNING）」を回して、「選局表示針」をお聴きになりたいラジオ局（周波数）に合わせます。

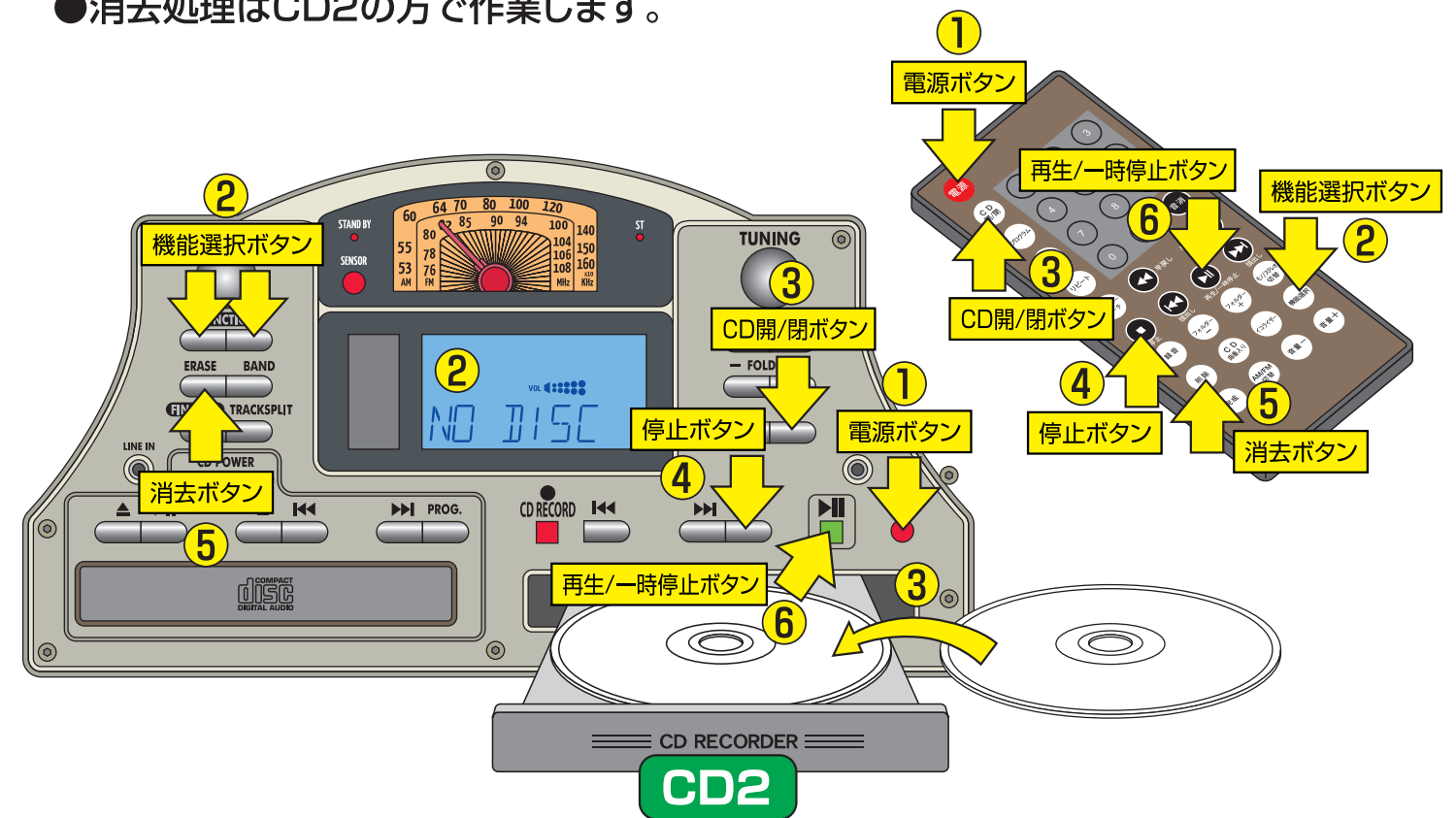
⑤FMステレオ放送を聞く場合は「モノ/ステレオ切替ボタン」を押してください。選局されるとFMステレオ表示ランプが点灯します。FM電波が弱く、雑音が発生した場合はモノラル側を選択すると、雑音が改善される場合があります。モノラル側ではFMステレオ表示ランプは点灯しません。

⑥音量調整ツマミを左右に回し、お好みの音量でお聴きください。（リモコンの音量調整ボタンで+【音量大】、−【音量小】で調整）

外部FMアンテナの取付け

「FMアンテナ線」は、なるべく高いところに長く伸ばして取付けてください。
電波の状態、本機の設置場所によって位置を調整してください。

AM放送を聴く時の注意

AMの電波は高い建物の影や鉄筋コンクリートのマンション内など、電波を受信しにくい場所があります。
本機の置き場所や向きを変え、電波を受信しやすい状態にしてお使いください。

CD-RWの曲データーの消去

●消去処理はCD2の方で作業します。

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
①	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
②	機能選択ボタンを押しディスプレーを確認して「NO DISC」を選択します	NO DISC	機能選択ボタンを押しディスプレーに「NO DISC」が出るまで何回か押します
③	CD2のCD開／閉ボタンを押し内容を消去したいCD-RWをセットします	OPEN	ディスプレーに「OPEN」が出ますCD-RWをセットしてください
④	自動で音楽が再生されますので停止ボタンを押します	07　28:23	CDを停止ボタンを押し停止させますディスプレーにCDの内容が表示されます
⑤	削除（ERASE）ボタンを押します　ディスプレーに「ERASE−Y」が出ます	ERASE−Y	ディスプレーに「ERASE−Y」が出て「Y」が点滅します再生/一時停止ボタン（緑色■）を押します
⑥	再生/一時停止ボタン（緑色■）を押します消去処理を開始します	BLANK CD	消去処理は約2〜3分ほどかかります（処理時間は内容によって変わります）「BLANK CD」になり消去完了です

録音用CD-R/CD-RWについて

⚠注意 ●録音に使用できるディスクは、音楽録音用のCD-RとCD-RWです。CD-Rに書き込んだデーターは消すことはできません。CD-RWは記録したり消したりすることができます。

●CD-R、CD-RWディスクはメーカーまたは、CDディスクにより録音できない場合があります。特にテープ／レコード（アナログ製品）からの録音の場合、CD記録ソフトの特性などにより録音・再生できないことがあります。

●CD-R、CD-RWディスクはメーカーによっては、本機の性能を十分発揮できない場合がありますので、あらかじめテストをお勧めします。

CD-Rについて

●録音後は音楽データーを消すことはできません。

●完成処理（ファイナライズ処理）の前であれば、追加録音することができます。

CD-RWについて

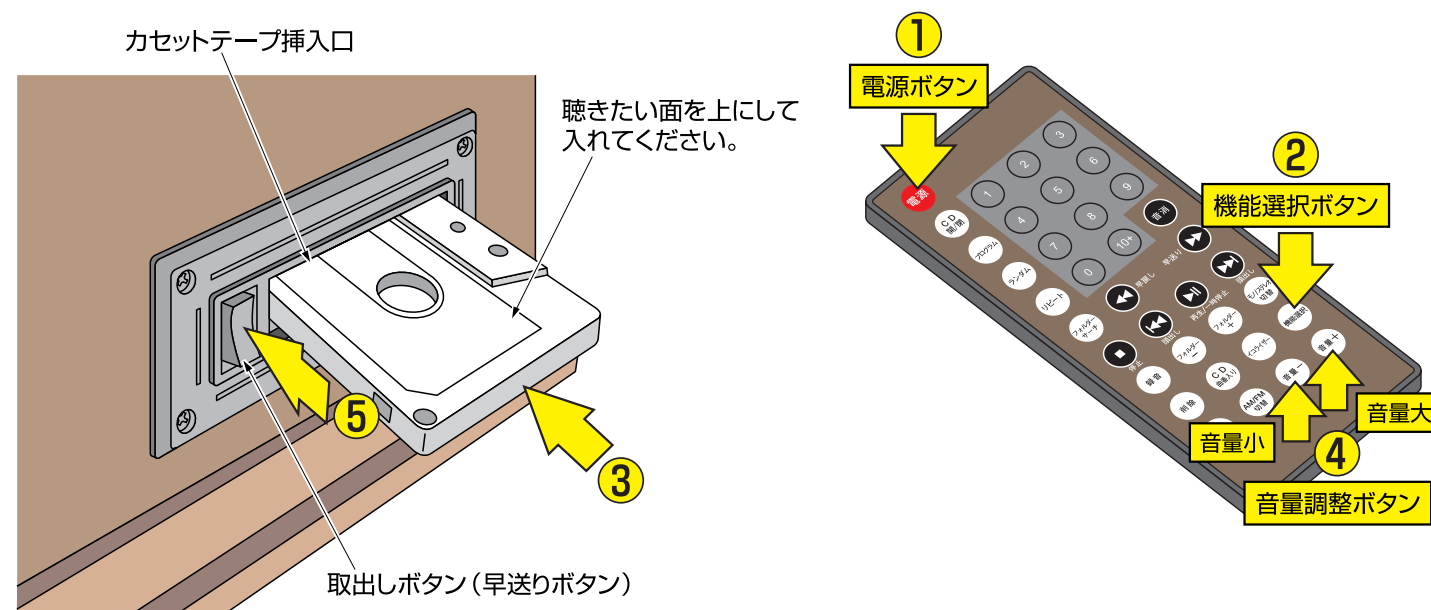
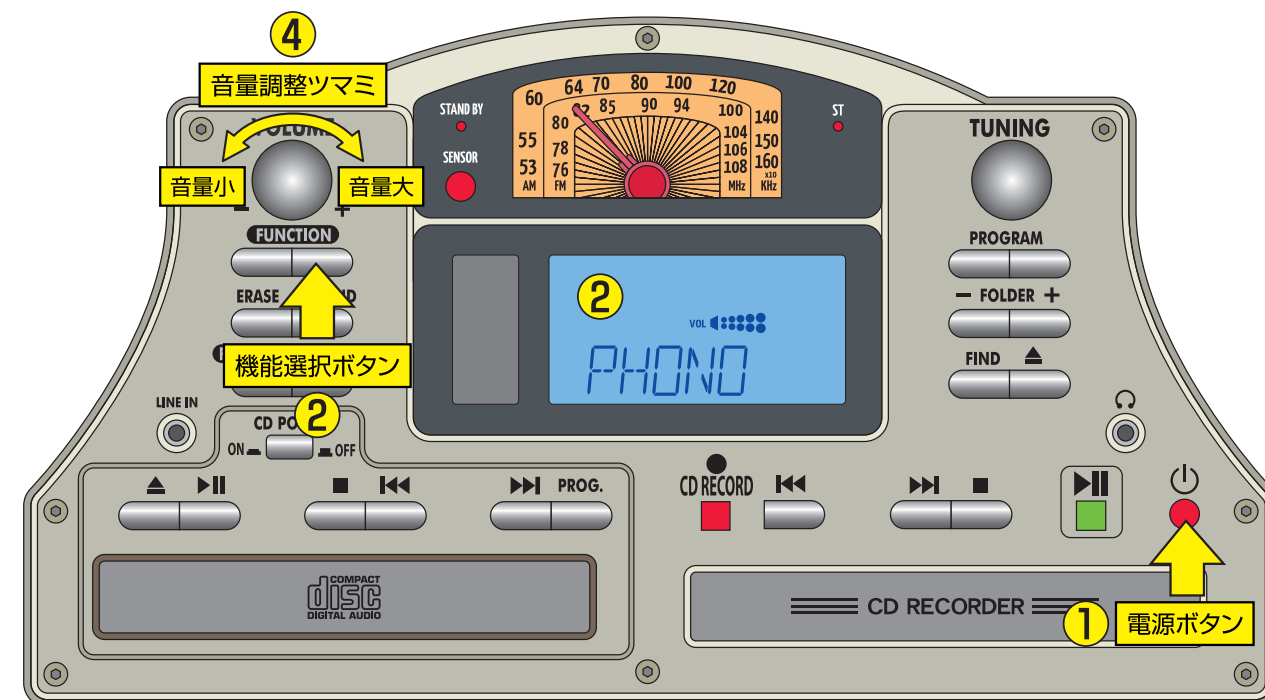
●録音後、削除ボタンにて簡単に全ての曲を一度に消すことができます。
（詳細はP.25のCD-RWの曲データの消去を参照にしてください。）

●録音したデータは何度でも繰り返し消すことができます。また、一度消したデータは戻りませんので、消す時はご注意ください。

注 意

※市販のCDプレーヤー（特に古い機種）によってはCD-RW再生機能が無いものがありますので、再生することができません。

※CD-Rは一度録音しますと消すことができませんので、失敗が心配な場合はCD-RWを練習用としておすすめします。

カセットプレーヤーの使い方（再生専用）

①前面パネル（リモコン）の「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。ディスプレーが点灯します。

②「機能選択（FANCTION）」ボタンを押しディスプレーに「PHONO」表示にします。

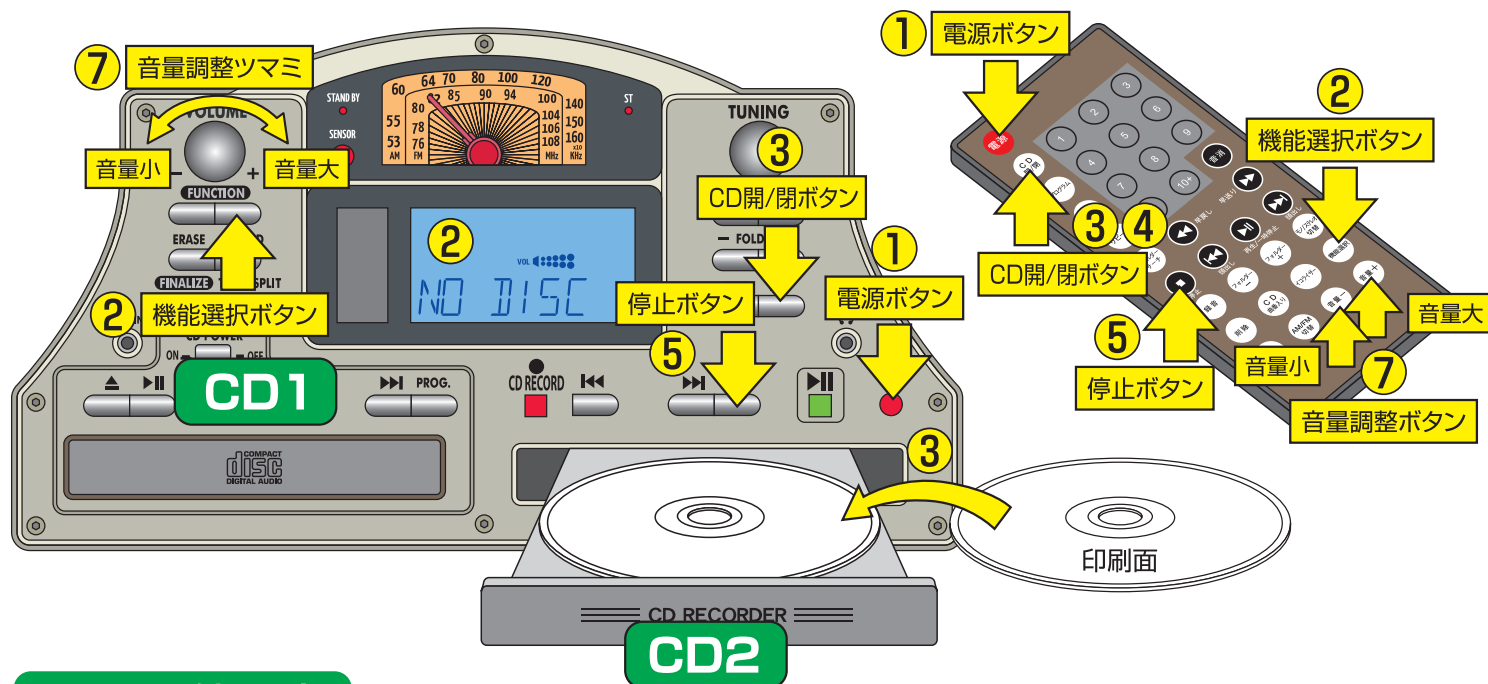
③「カセットテープ挿入口」へ、聴きたい面を上にして図のように押し入れます。自動的に音楽を再生します。

④「音量調整ツマミ」を左右に回して、調整してください。右に回すとと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。（リモコンの音量調整ボタンで＋【音量大】、−【音量小】で調整）

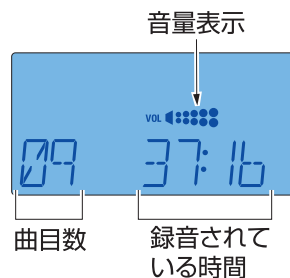
⑤入口の左側にある「取出しボタン」を押すとテープが早送りされます。テープを取り出すときは、さらに強く押すとテープが取り出せます。

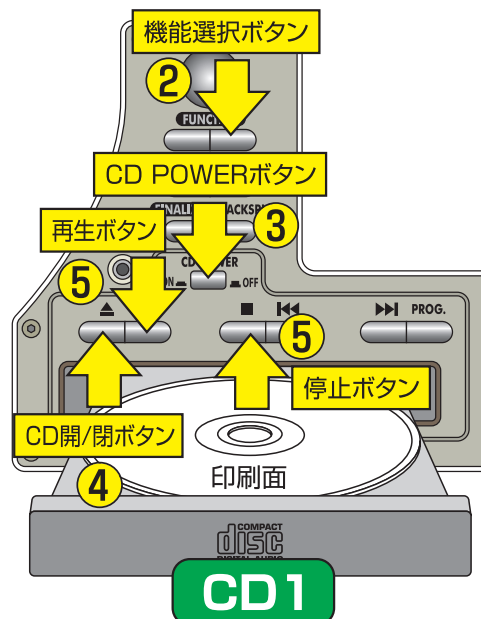
●機器に入れる前に、テープをチェックしてください。ゆるんでいるとトラブルの元になりますので、片方の穴に鉛筆などを入れ、方向にしたがって軽く巻いて、ゆるみをなくしてから使用してください。

●使用するテープは、C-30、C-45、C-60タイプを使用してください。C-90、C-120タイプはテープが薄く、からまる恐れがありますので、おすすめできません

CDプレーヤーの使い方（再生）

CD2の使い方

①前面パネル（リモコン）の「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。ディスプレーが点灯します。
②「機能選択（FANCTION）」ボタンを押しディスプレーに「NO DISC」表示にします。
③CD開／閉ボタン（⏏）を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にしてCDをセットします。
④CD開／閉ボタン（⏏）を押してトレイを閉めます。手でかるく押しても閉まります。
⑤ディスプレーに図のような画面が現われ、CD内の情報を読み取ります。
⑥しばらくすると自動的に再生が始まります。
⑦「音量調整ツマミ」を左右に回して、調整してください。右に回すと大きくなり、
左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
（リモコンの音量調整ボタンで＋【音量大】、－【音量小】で調整）

音量表示
09 37:16
曲目数　録音されている時間

CD1の使い方

①前面パネル（リモコン）の「電源ボタン」を押し電源スイッチを入れます。ディスプレーが点灯します。
②「機能選択（FANCTION）」ボタンを押しディスプレーに「CD/AUX」表示にします。
③「CD POWERボタン」を押し小さなディスプレーに「00」表示にします。
④CD開／閉ボタン（⏏）を押し、トレイを開け、CDの印刷面を上にしてCDをセットします。
⑤CD開／閉ボタン（⏏）を押してトレイを閉めます。手でかるく押しても閉まります。
⑥ディスプレーに図のような画面が現われ、CD内の情報を読み取ります。
⑦再生/一時停止ボタン（ ▶II ）を押すと再生が始まります。
⑧「音量調整ツマミ」を左右に回して、調整してください。右に回すとと大きくなり、左に回すと小さくなりますのでお好みの音量でお聴きください。
（リモコンの音量調整ボタンで＋【音量大】、－【音量小】で調整）
⑨リモコンでは操作ができませんので、本体のボタンで操作してください。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
2	機能選択ボタンを押しCD2のディスプレーを確認して「CD/AUX」を選択します	CD/AUX	機能選択ボタンを押しCD2のディスプレーに「CD/AUX」が出るまで何回か押します
3	音楽プレーヤーのヘッドホン端子と前面パネルの入力端子に接続ケーブルでつなぎます	CD/AUX	裏側のAUX入力端子にラジカセの出力端子やステレオセットの出力端子をつないでも同じように録音できます
4	CD2の開／閉ボタンを押し新しい（録音用）のCD-RまたはCD-RWを入れます	OPEN	ウラオモテを間違わないように入れてください（OPEN表示）だいたい光っているほうが「ウラ」です
5	録音ボタン（■赤色）を押します録音が開始されます	REC 01 00:00	録音したい音楽の頭出し（曲が始まるところ）を確認しておいてください
6	音楽プレーヤーの音楽を再生しますスピーカーから音楽が流れます	REC 01 00:27	録音ボタンを押したらすぐにタイミング良く録音したい曲を再生してください録音中にはディスプレーに「REC」表示
7	録音する曲が終ったらCD2の停止ボタンを押します	REC CLOSE TK	ディスプレーに「CLOSE TK」が出て録音完了です1曲録音されました
8	このCDがいっぱいになるまで続けて録音ができます	REC 02 00:27	このままで他のCDやレコードなどから続けて録音ができます完成作業をするとできなくなります
9	CDを完成させる場合はファイナライズ（完成）作業をおこなってください	FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると他の再生装置（CDプレーヤーなど）で聴くことができます

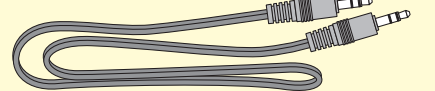
●ファイナライズ（完成）をしなければ本機で聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。ファイナライズをすることによりお持ちのプレーヤー／カーステレオ等で再生できます。
※CD－RWの場合は再生プレーヤーによって再生機能がないものがありますのでお持ちのプレーヤーの再正可能メディアを確認してください。

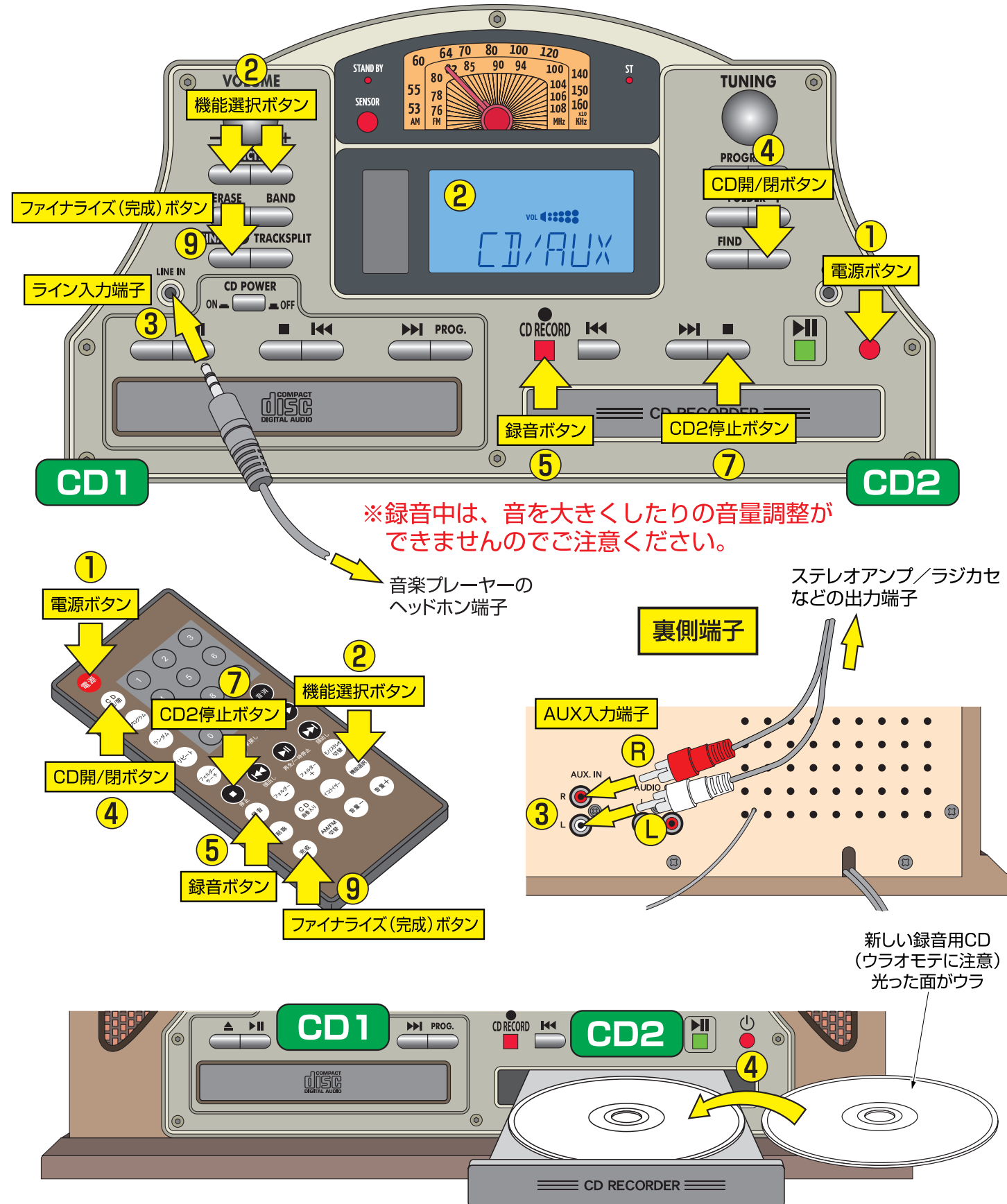
●本体裏側にあるAUX. IN端子（AUX入力端子）を利用して、ラジカセやお手持ちのステレオアンプの出力端子（LINE OUT）に接続してご利用ください。接続には付属のステレオ用ピンジャック付きケーブルをお使いください。

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

注意

●音楽プレーヤーのヘッドホン端子からの録音は、出力が大きかったり、音楽プレーヤーの音量の大きさなどにより本機の故障の原因になることがあります。特に出力が2W以上のプレーヤーの本機接続は故障の原因になることがあります。

●音楽プレーヤーと本機への接続は付属のミニジャック仕様（φ3.5mm）のステレオ接続ケーブルをお使いください。

音楽プレーヤーからCDへの録音方法

※録音するメディア（CD）は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

CD2の再生のしかた

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
1	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
2	機能選択ボタンを押しディスプレーを確認して「NO DISC」を選択します	NO DISC	機能選択ボタンを押しディスプレーに「NO DISC」が出るまで何回か押します
3	CD2のCD開／閉ボタンを押し録音済みのCDまたは市販のCDをセットします	OPEN	ディスプレーに「OPEN」が出ますCDをセットしてください
4	CD情報を読み取りしばらくすると自動で音楽が再生されます	01 00:27	1曲目から再生されます
5	止めるときは停止ボタンを押します　CD開／閉ボタンを押しCDを取り出します	07 28:23	CDの情報が右の画面のようにディスプレーに曲数と録音時間が表示されます

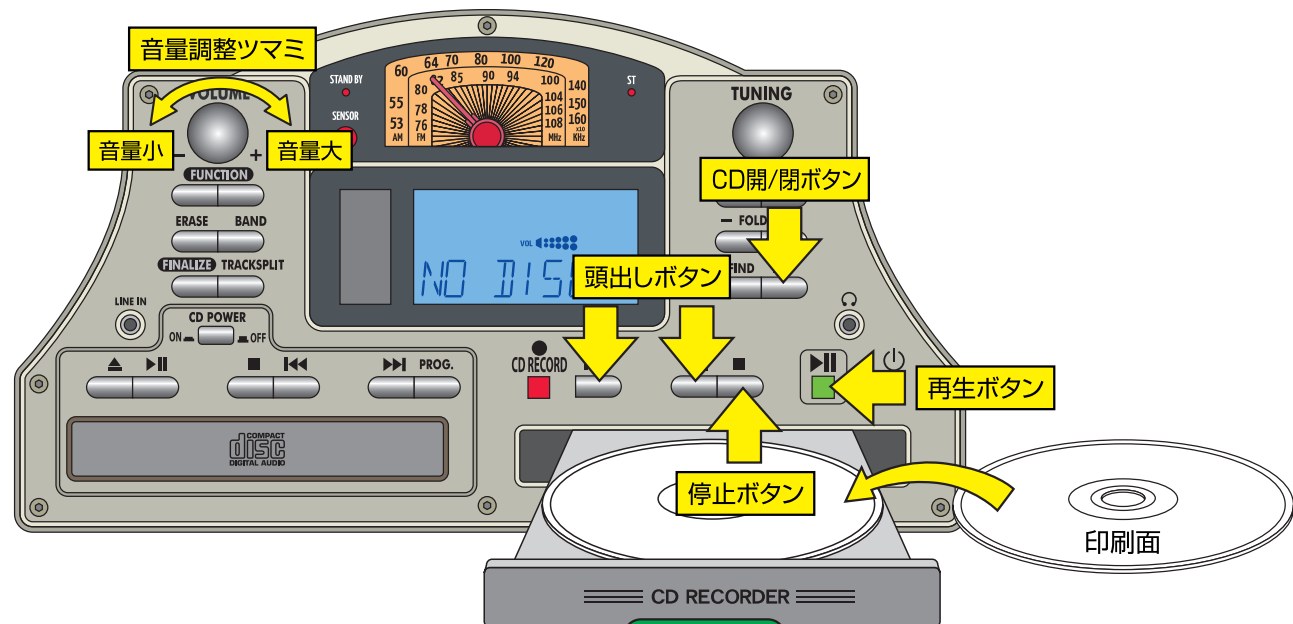
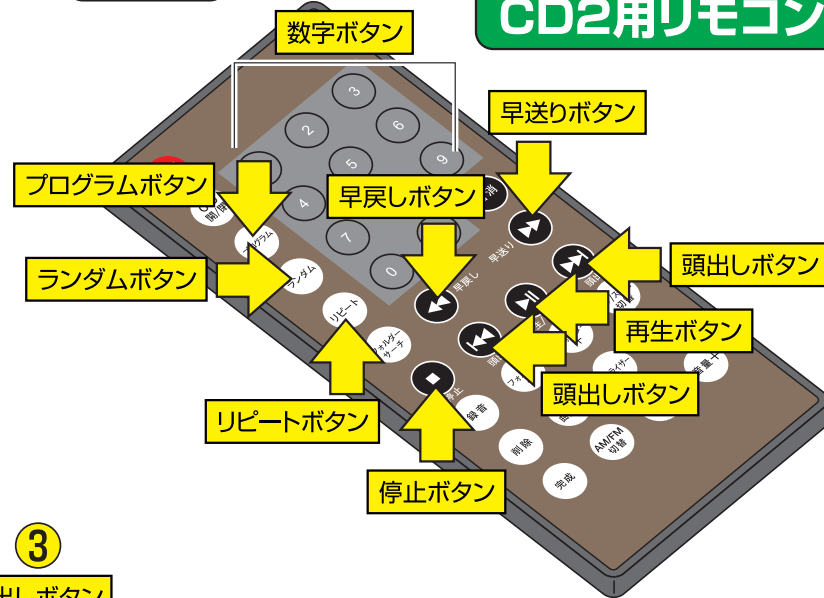
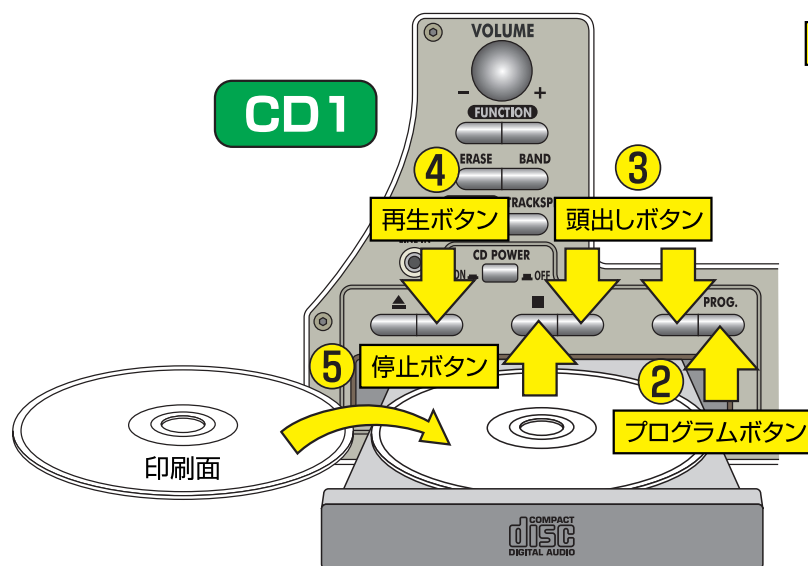
CD1の再生のしかた

	操 作 方 法	ディスプレー表示	詳 細 説 明
1	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	CDディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
2	機能選択ボタンを押しディスプレーを確認して「CD/AUX」を選択します	CD/AUX	機能選択ボタンを押しディスプレーに「CD/AUX」が出るまで何回か押します
3	CD POWERボタンを押します小ディスプレーが点灯してディスプレーに「00」が出ます	00 CD/AUX	ディスプレーに「00」が表示されます
4	CD1のCD開／閉ボタンを押しCDをセットします	9 CD/AUX	情報を読み取りCDに入っている曲数がでます左の画面では9曲です
5	再生ボタンを押すと1曲目から音楽が再生されます	1 CD/AUX	小画面に1表示
6	止めるときはCD1の停止ボタンを押します	OP CD/AUX	CD1の開/閉ボタンを押しCDを取り出します

CDプレーヤーの使い方（便利な機能）

CD/AUX

プログラム順番数字

CDに入っている順番

CD1のプログラム再生

①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。

②停止状態で「プログラム」ボタンを押すと小ディスプレーに「PROG」表示され、文字が点滅します。

③「頭出し ⏮／⏭ 」ボタンを押し曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。

④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。

⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「PROG」表示を消してください。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
1	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます 左画面はFM放送です
2	機能選択ボタンを押し「TUNER FM」か「TUNER AM」を選択します	TUNER AM	「TUNER FM」はFM放送「TUNER AM」はAM放送です 左画面はAM放送です
3	選局ツマミ（TUNING）を回して録音したいラジオ局に合わせてください	TUNER FM	なるべくクリアーな音（雑音のない音）になるように選局をしてください 音が悪くてもそのまま録音されます
4	CD2の開／閉ボタンを押し新しい（録音用）のCD-RまたはCD-RWを入れます	OPEN	録音したCDに追加録音するときは自動で録音された曲が流れますので停止ボタンを押してください
5	録音ボタン（■赤色）を押します 録音が開始されます	REC 01 00:27	ディスプレーに「REC」表示 ディスプレーに秒数「00」表示から ディスプレーの秒数表示スタート
6	録音番組が終わりましたらCD2の停止ボタンを押します 録音ができました	REC CLOSE TK	ディスプレーに「CLOSE TK」が出て録音完了です
7	他のラジオ番組を続けて録音するときは録音、停止を繰返てください	REC 02 00:27	録音ボタン（■赤色）を押すと ディスプレーに「REC」表示 再度録音が始まります
8	このCDがいっぱいになるまで続けて録音ができます	07 28:23	曲が終わりましたら停止ボタンを押します ディスプレーに曲数と録音時間が表示されます
9	CDを完成させる場合はファイナライズ（完成）作業をおこなってください	FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると他の再生装置（CDプレーヤーなど）で聴くことができます

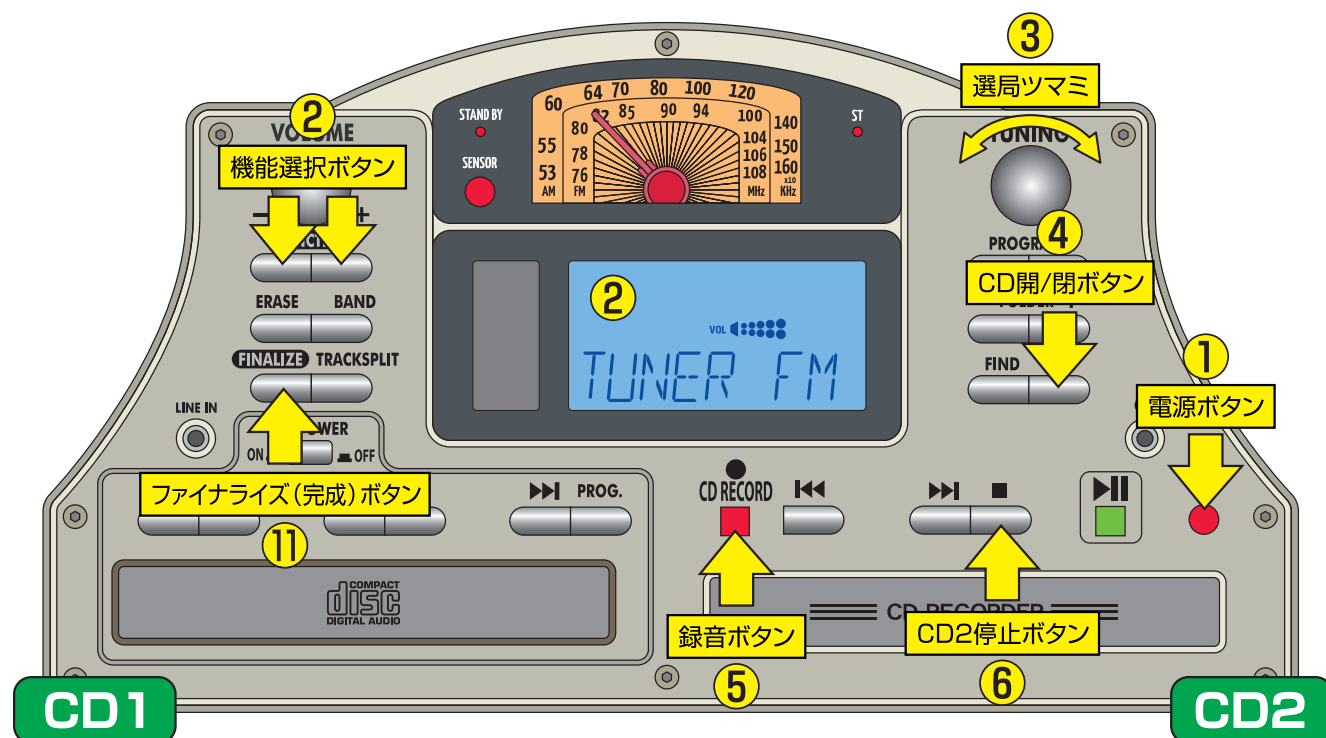
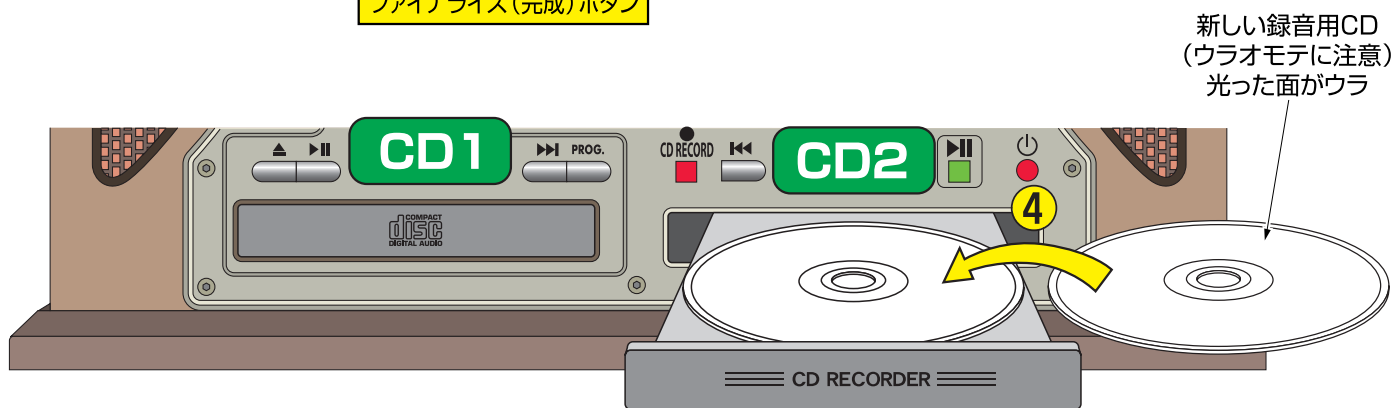
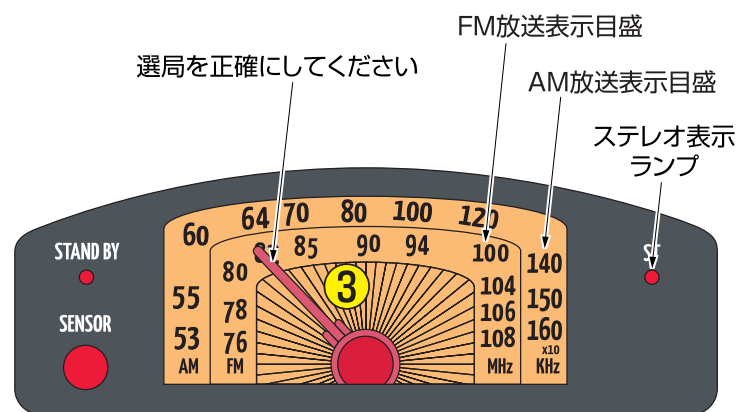
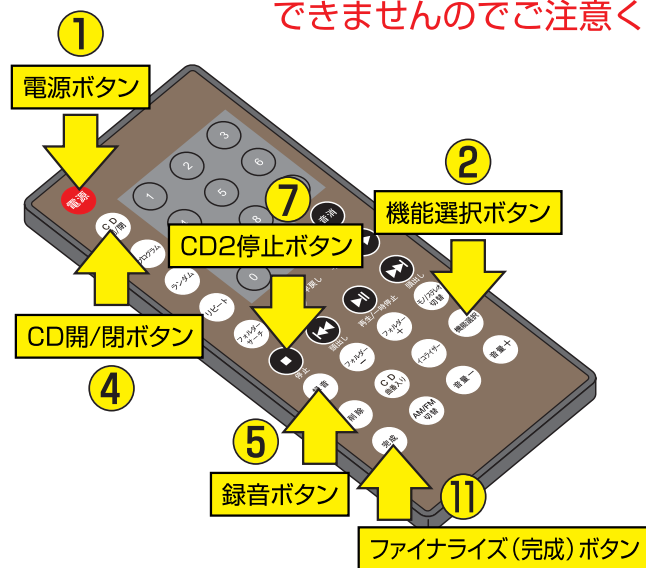
※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

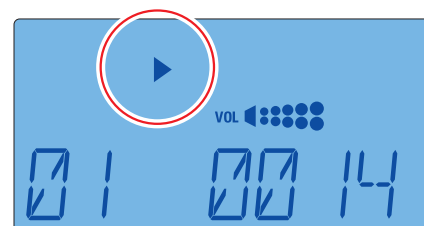
●ラジオ放送は選局（チューニング）を正しくしてください。雑音が多い場合もそのままで録音されますのでご注意ください。電波状態が悪い場合は、クリアーな音が出るようにアンテナや本体の向きを調整してください。

●ラジオからCDへの録音は、一度停止ボタンを押すと、曲に一つの区切りができます。レコードからCDへ録音、テープからCDへ録音、ラジオからCDへ録音とCDが一杯になるまで何回も録音できます。

●ファイナライズ（完成）をしなくても本機では聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと、他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。

ラジオからCDへの録音方法

※録音するメディア（CD）は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

※録音中は、音を大きくしたりの音量調整ができませんのでご注意ください。

CD1のノーマル再生

再生中マーク

①「再生／一時停止」ボタンを押すと1曲目から順に再生が始まります。

②再生中に「再生／一時停止」ボタンを押すと一時的に停止します。もう一度押すと再生が再開されます。長押し（2秒以上）すると再生が完全に停止します。

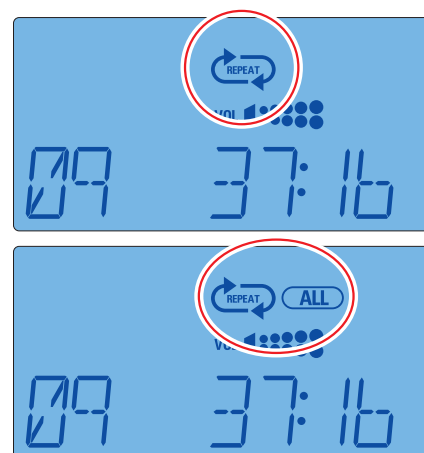
③再生中または停止中に「頭出し ▶▶I 」ボタンを押すと1曲先を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ先の曲を再生します。「頭出し I◀◀ 」ボタンを押すと1曲後を再生されます。くり返し押すと、押した数だけ後に戻り曲を再生します。

②再生中に「早送り ▶▶ 」ボタンを押すと早く送られます。「再生 ▶II ボタン」を押すと正常再生に戻ります。再生中に「早送り ◀◀ 」ボタンを押すと早く送られます。「再生 ▶II ボタン」を押すと正常再生に戻ります。

CD1のリピート再生

…………全曲をくり返し再生します。

……………1曲をくり返し再生します。

①停止状態または再生中に「リピート」ボタンを押すと右図のディスプレー表示が順番に出ます。

①もう一度「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。

②「再生」ボタンを押すと右図表示の「くり返し」再生が始まります。

CD1のランダム再生

ランダム表示

①リモコンの「ランダム」ボタンを押すと左図の丸内がディスプレーに表示されます。

②「RANDOM」の表示で「再生」ボタンを押すと全曲の順番が不規則に入れ替わって再生されます。

③「リピート」ボタンを押すと表示が消え、解除されます。

④「停止」ボタン押すとランダム再生が解除されます。

CD1のプログラム再生

プログラム表示

①お好みの曲順に32曲までプログラム再生できます。

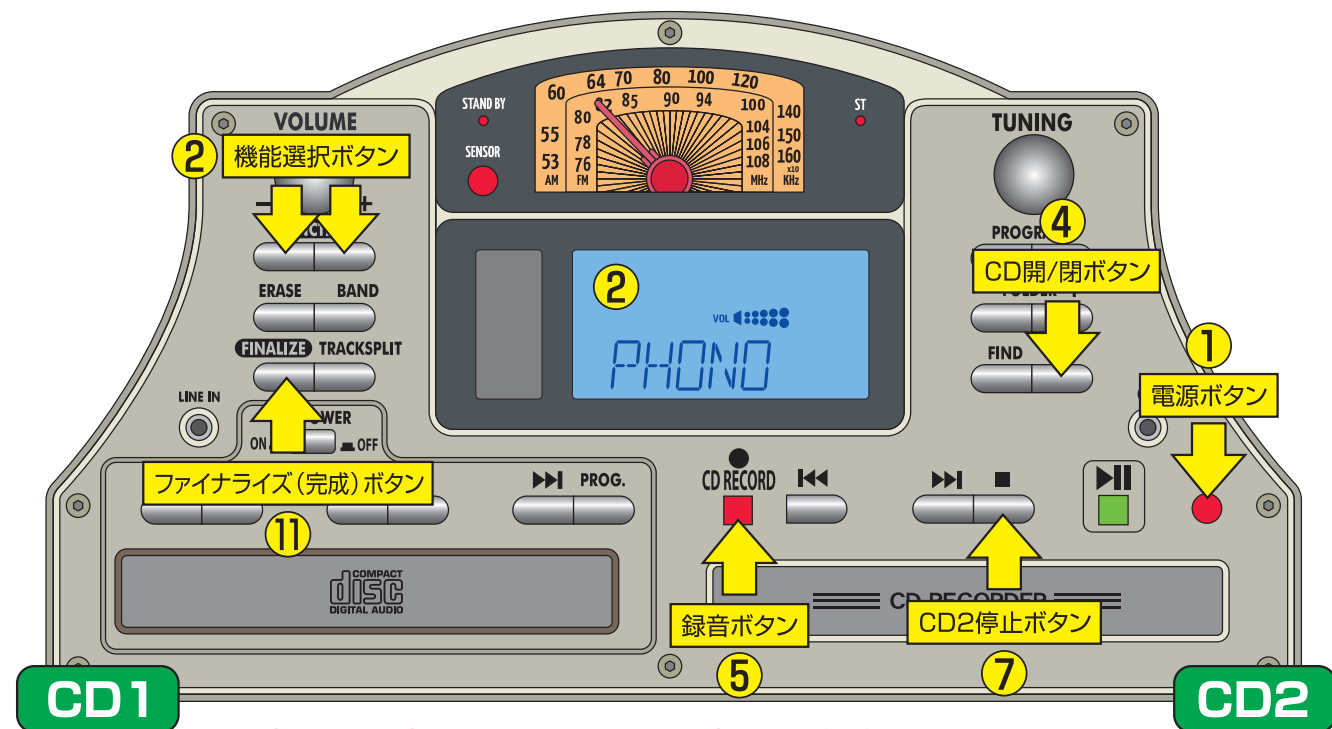
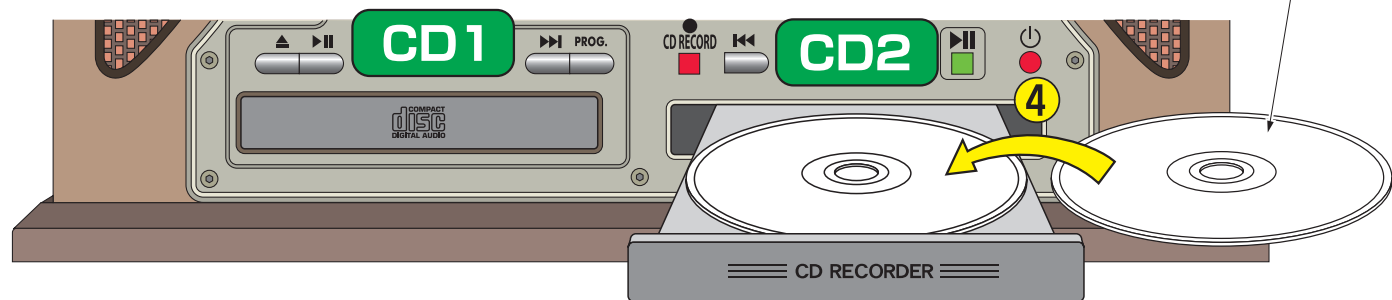
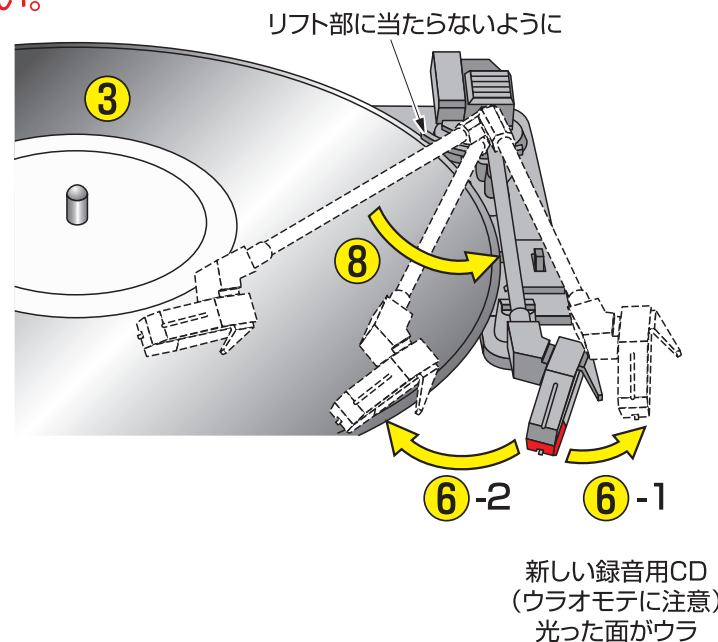
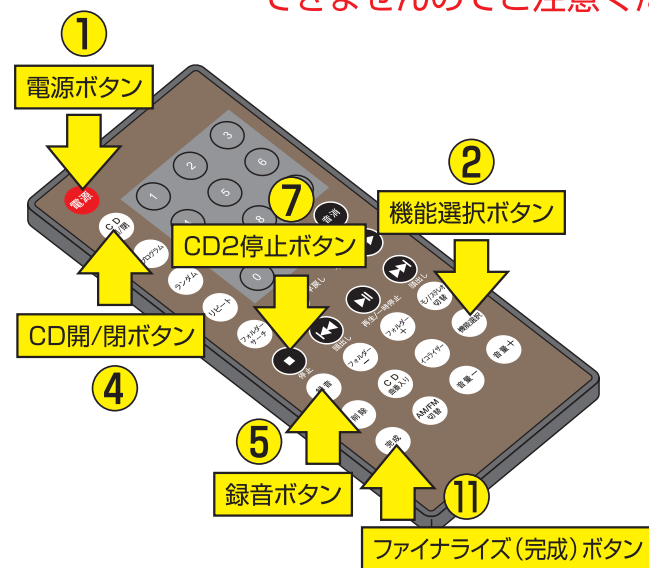
②停止状態で「プログラム」ボタンを押すとディスプレーに「MEMORY」表示され、文字が点滅します。

③リモコンの数字ボタン（曲順ボタン）を押し曲を選択し、「プログラム」ボタンを押すと文字が点滅しなくなり登録されます。これをくり返し曲順を登録してください。

④「再生」ボタンを押すと登録した順に再生されます。

⑤プログラム再生を終了するには、「停止」ボタンを押し、「MEMORY」表示を消してください。

レコードからCDへの録音方法

※録音するメディア（CD）は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

※録音中は、音を大きくしたりの音量調整ができませんのでご注意ください。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
②	機能選択ボタンを押しディスプレーを確認して「PHONO」を選択します	PHONO	機能選択ボタンを押しディスプレーに「PHONO」が出るまで何回か押します
③	テープの早送りボタンで録音したい曲の頭にしておきます	PHONO	再生されたとき録音したい曲が再生されるようにしておきます一度テープを取出しておきます
④	CD2の開／閉ボタンを押し新しい（録音用）のCD-RまたはCD-RWを入れます	OPEN	録音したCDに追加録音するときは自動で録音された曲が流れますので停止ボタンを押してください
⑤	録音ボタン（■赤色）を押します録音が開始されます	●REC 01 00:00	ディスプレーに「REC」表示ディスプレーに秒数「00」表示からスタートします
⑥	録音したい面を上にしてテープ挿入口からテープを入れます　自動再生	●REC 01 00:27	ディスプレーの秒数表示スタート
⑦	録音曲が終りましたらCD2の停止ボタンを押します録音ができました	●REC CLOSE TK	ディスプレーに「CLOSE TK」が出て録音完了です
⑧	テープ取出しボタン（停止ボタン）を押します	PHONO	ディスプレーに「PHONO」表示
⑨	テープの裏面または別のテープをセットします⑤から⑧を繰返します	●REC 02 00:27	録音ボタン（■赤色）を押すとディスプレーに「REC」表示再度録音が始まります
⑩	このCDがいっぱいになるまで続けて録音ができます	07 28:23	曲が終りましたら停止ボタンを押しますディスプレーに曲数と録音時間が表示されます
⑪	CDを完成させる場合はファイナライズ（完成）作業をおこなってください	FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると他の再生装置（CDプレーヤーなど）で聴くことができます

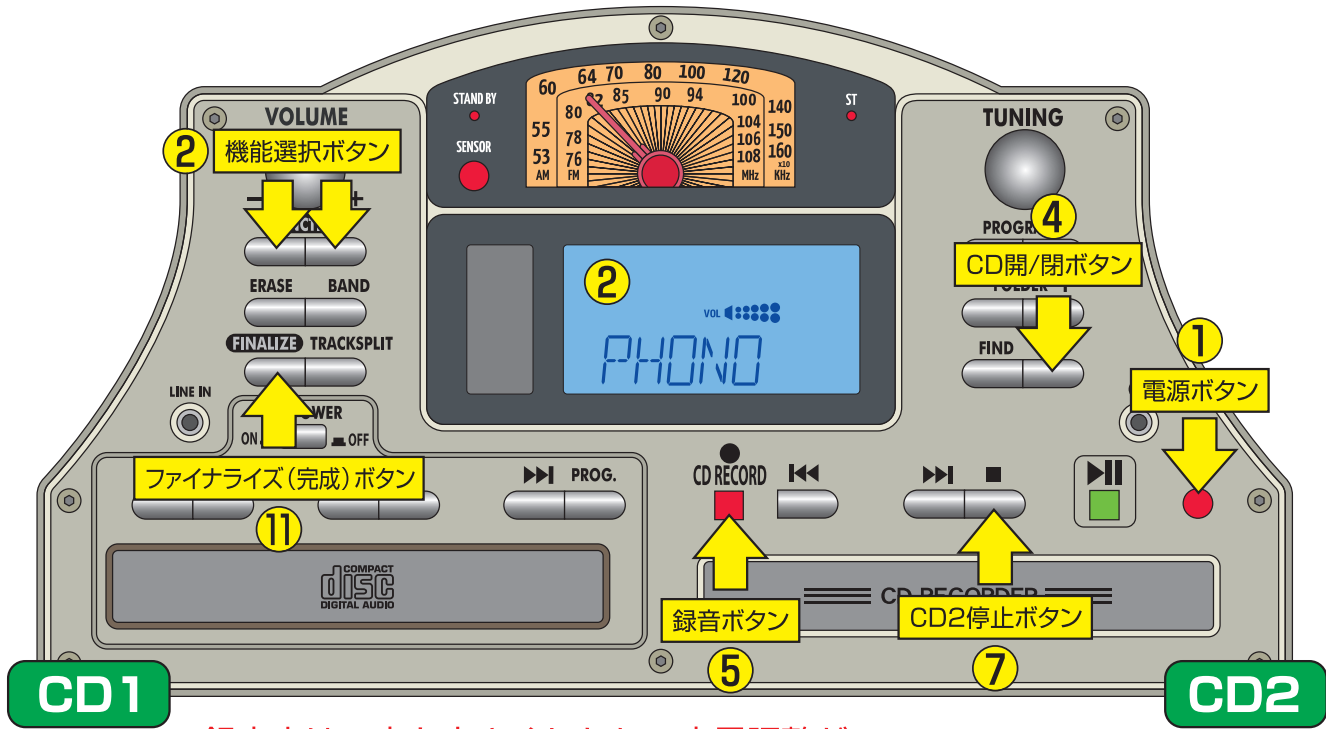
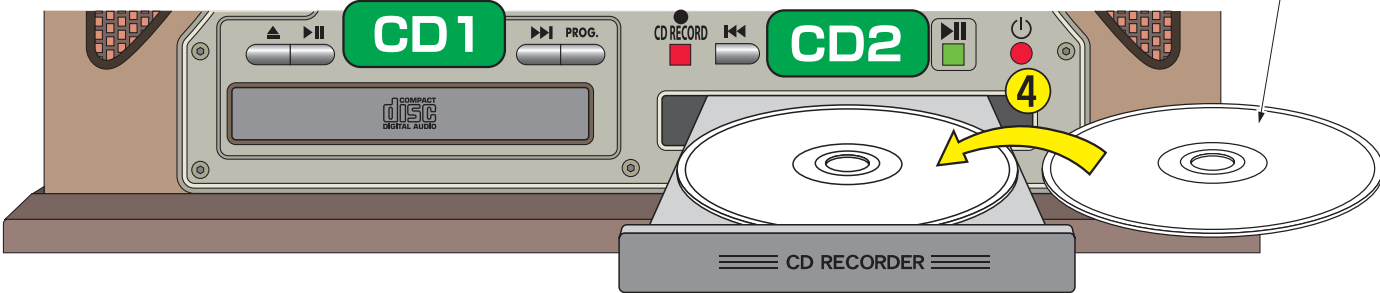
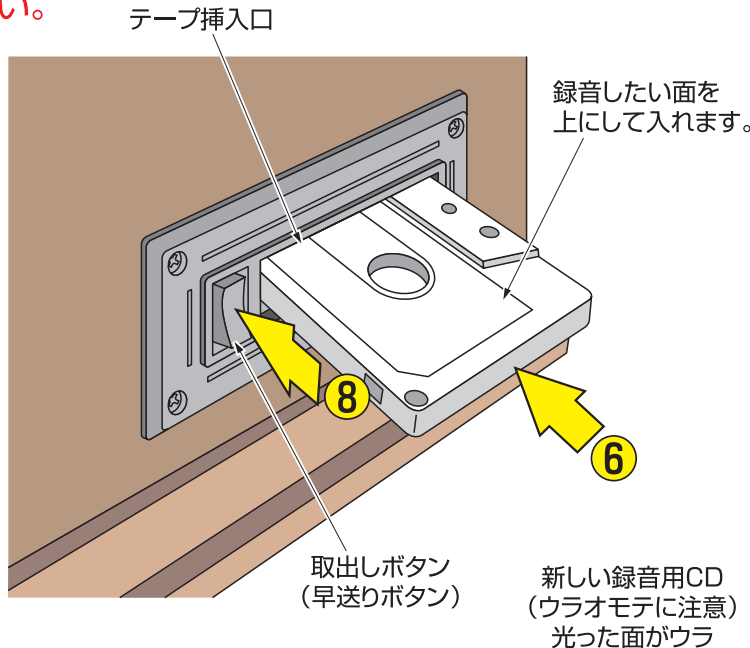
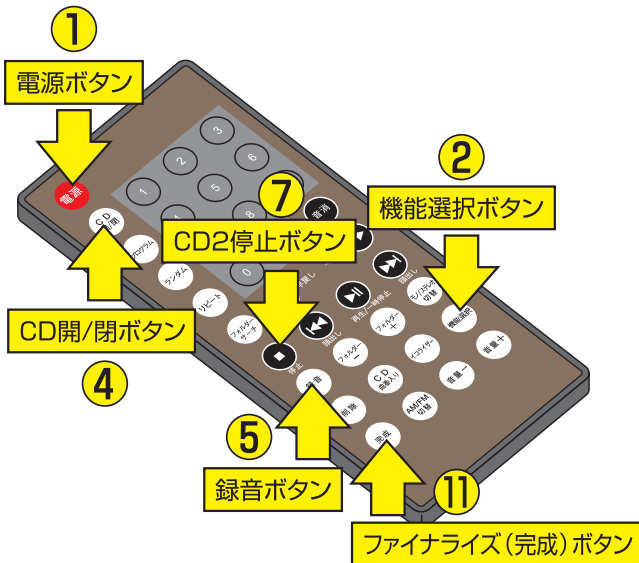
●A面とB面を一枚のCDに録音する場合は⑤〜⑧を繰返し行います。
一度の操作で両面の録音はできません。また、一時停止ボタンはこのとき使用できませんので最初⑤から操作をしてください。

●録音終了時に停止ボタンを押すと、曲に一つの区切りができます。ファイナライズ（完成）をしなければCDがFULL（約75分）になるまで録音ができます。

●ファイナライズ（完成）をしなければ本機で聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。
ファイナライズをすることによりお持ちのプレーヤー／カーステレオ等で再生できます。
※CD－RWの場合は再生プレーヤーによって再生機能がないものがありますのでお持ちのプレーヤーの再正可能メディアを確認してください。

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

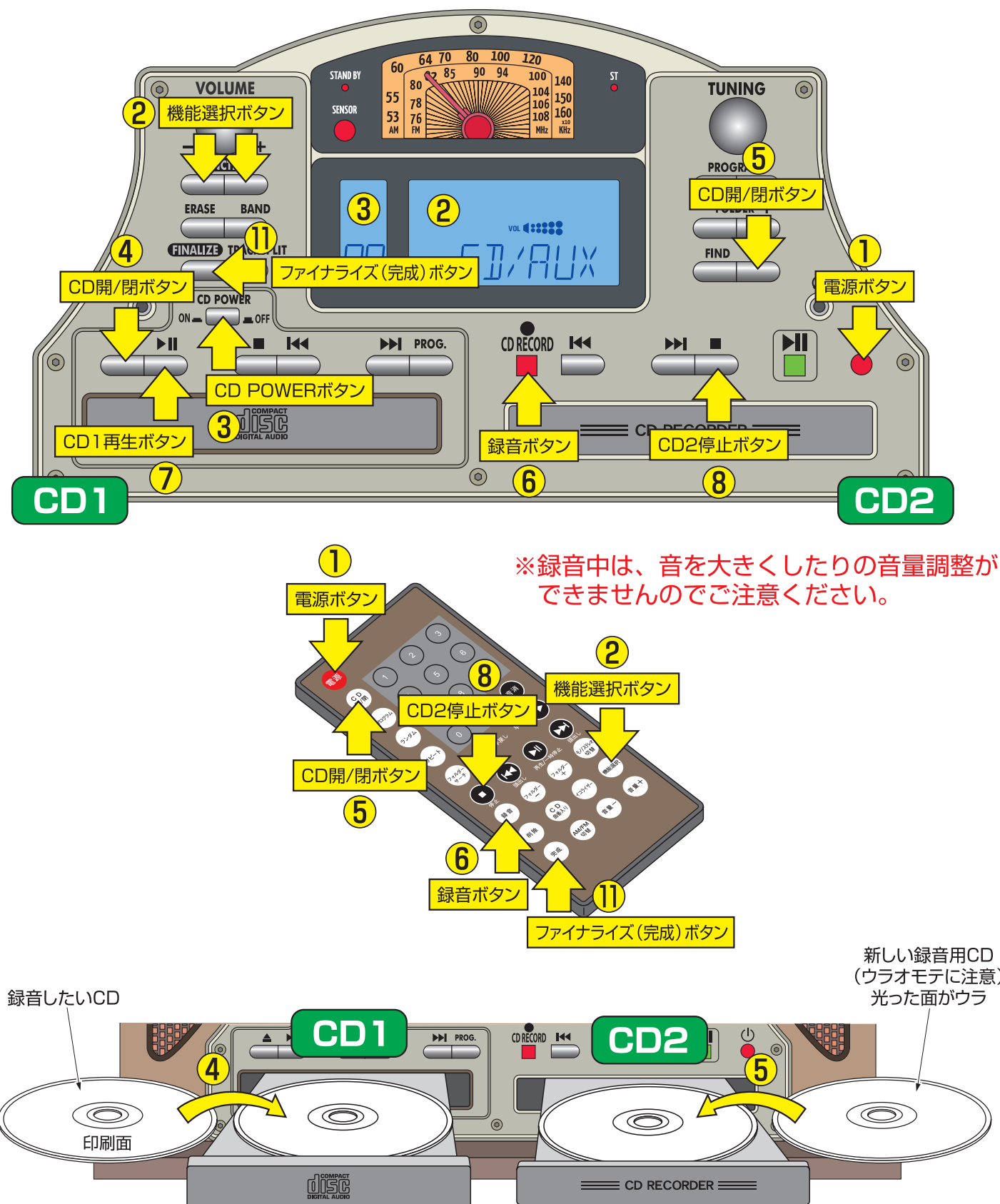
カセットテープからCDへの録音方法

※録音するメディア（CD）は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

※録音中は、音を大きくしたりの音量調整ができませんのでご注意ください。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタン●を押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
②	機能選択ボタンを押しディスプレーを確認して「PHONO」を選択します	PHONO	機能選択ボタンを押しディスプレーに「PHONO」が出るまで何回か押します
③	ターンテーブルにA面を上側にレーコードをセットします	PHONO	LP盤を乗せるときはシフト部に当たらないように注意してセットしてください
④	CD2の開／閉ボタンを押し新しい（録音用）のCD-RまたはCD-RWを入れます	OPEN	録音したCDに追加録音するときは自動で録音された曲が流れますので停止ボタンを押してください
⑤	録音ボタン（■赤色）を押します録音が開始されます	REC 01 00:00	ディスプレーに「REC」表示ディスプレーに秒数「00」表示からスタートします
⑥	タイミングよくすぐにレコードに針を乗せますスピーカーから音楽が流れます	REC 01 00:27	アームヘッドを右側に少し戻すとターンテーブルが回りますので静かに針を乗せてください
⑦	A面の曲が終りましたらCD2の停止ボタンを押しますA面の録音ができました	REC CLOSE TK	ディスプレーに「CLOSE TK」が出て録音完了です
⑧	レコードアームをホルダーに戻します	PHONO	ディスプレーに「PHONO」表示
⑨	レコードの裏面（B面）または別のレコード盤をセットします⑤から⑧を繰返します	REC 02 00:27	録音ボタン（■赤色）を押すとディスプレーに「REC」表示再度録音が始まります
⑩	このCDがいっぱいになるまで続けて録音ができます	07 28:23	曲が終りましたら停止ボタンを押しますディスプレーに曲数と録音時間が表示されます
⑪	CDを完成させる場合はファイナライズ（完成）作業をおこなってください	FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると他の再生装置（CDプレーヤーなど）で聴くことができます

●A面とB面を一枚のCDに録音する場合は⑤〜⑧を繰返し行います。
一度の操作で両面の録音はできません。また、一時停止ボタンはこのとき使用できませんので最初⑤から操作をしてください。
●録音終了時に停止ボタンを押すと、曲に一つの区切りができます。ファイナライズ（完成）をしなければCDがFULL（約75分）になるまで録音ができます。
●ファイナライズ（完成）をしなければ本機で聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。
ファイナライズをすることによりお持ちのプレーヤー／カーステレオ等で再生できます。
※CD－RWの場合は再生プレーヤーによって再生機能がないものがありますのでお持ちのプレーヤーの再正可能メディアを確認してください。

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

CDからCDへの録音方法

※録音するメディア（CD）は本機の使用に慣れるまでは、録音した曲を消去できるCD-RWをお勧めします。

※録音中は、音を大きくしたりの音量調整ができませんのでご注意ください。

	操作方法	ディスプレー表示	詳細説明
①	電源ボタンを押し電源を入れます（ディスプレーが点灯）	TUNER FM	ディスプレーには最初は「TUNER FM」が表われます
②	機能選択ボタンを押しCD2のディスプレーを確認して「CD/AUX」を選択します	CD/AUX	機能選択ボタンを押しCD2のディスプレーに「CD/AUX」が出るまで何回か押します
③	「CD POWER」ボタンを押しCD1のスイッチを入れます（小ディスプレーが点灯）	00 CD/AUX	CD1の「CD POWER」ボタンを押すと小ディスプレーが点灯して「00」が表われます
④	CD1の開／閉ボタンを押し録音したいCDを印刷面を上にして入れます	9 CD/AUX	CD1にCDを入れるとそのCDに入っている曲数がディスプレーに出ます（この場合9曲）
⑤	CD2の開／閉ボタンを押し新しい（録音用）のCD-RまたはCD-RWを入れます	9 CD/AUX	ウラオモテを間違わないように入れてくださいだいたい光っているほうが「ウラ」です
⑥	録音ボタン（赤色）を押します録音が開始されます	▶ 1 CD/AUX	録音したい音楽の頭出し（曲が始まるところ）を確認しておいてください
⑦	CD1の再生ボタンを押しCDを再生させますスピーカーから音楽が流れます	▶ 1 REC 01 00:27	録音ボタンを押したらすぐにタイミング良く録音したい曲を再生してください録音中にはディスプレーに「REC」表示
⑧	録音曲が終ったらCD2の停止ボタンを押します	▶ 1 REC CLOSE TK	ディスプレーに「CLOSE TK」が出て録音完了です1曲録音されました
⑨	CD2のディスクに録音がされました	9 CD/AUX	CD1の「停止」ボタンを押して再生を終了させてください
⑩	このCDがいっぱいになるまで続けて録音ができます	▶ 3 REC 02 00:27	このままで他のCDやレコードなどから続けて録音ができます完成作業をするとできなくなります
⑪	CDを完成させる場合はファイナライズ（完成）作業をおこなってください	FINALIZE	ファイナライズ（完成）作業をすると他の再生装置（CDプレーヤーなど）で聴くことができます

※ファイナライズ（CDの完成）はP.26をご参照ください。

●録音終了時に停止ボタンを押すと、曲に一つの区切りができます。ファイナライズ（完成）をしなければCDがFULL（約75分）になるまで録音ができます。
●ファイナライズ（完成）をしなければ本機で聴くことができますが、ファイナライズ（完成）作業をしないと他のCDプレーヤー（市販品）では聴けません。必ず最後にファイナライズ（完成）作業をしてください。
ファイナライズをすることによりお持ちのプレーヤー／カーステレオ等で再生できます。
※CD－RWの場合は再生プレーヤーによって再生機能がないものがありますのでお持ちのプレーヤーの再正可能メディアを確認してください。